

〔道路メンテナンス年報〕
宮城の道路メンテナンス概要



2020年12月
宮城県道路メンテナンス会議

まえがき

宮城県内の国道や高速道路、県道、市町村道の道路延長は約 26,300 km におよび、その中には約 12,700 橋の橋梁、約 140 箇所の特ネル、約 530 施設の道路附属物等があります。また、その道路構造物の多くが 1960 年代から 1990 年代頃にかけて建設され、道路構造物の老朽化が急速に進んでいると言えます。

例えば、老朽化の目安とされる建設後 50 年を経過した橋梁は、架設年次が不明なものを除くと、2020 年 3 月末時点で約 2,500 橋、全体の 29% ですが、20 年後には約 6,700 橋、76% まで急増するなど、道路構造物の老朽化への対応は緊急的・社会的な課題となっています。

2014 年度から定期点検の義務化など道路のメンテナンスサイクルの構築に向けて動き出しており、2018 年度までの 5 年間（1 巡目）で、各道路管理者により計画的に点検が実施されたところです。引き続き、2 巡目の点検を計画的に進めるとともに、点検結果を踏まえ個別施設ごとの長寿命化修繕計画を策定しながら補修・修繕等を進めていくこととしています。

「宮城県道路メンテナンス会議」は、道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化を図るため、2014 年度に県内のすべての道路管理者からなる組織を設立し、これまで道路施設の定期点検計画の策定、見学会・研修会及び修繕の実施に取り組んできたところです。

この「[道路メンテナンス年報]宮城の道路メンテナンス概要」は、宮城県道路メンテナンス会議の取り組みの一環として、県内の道路施設の老朽化の実態やメンテナンスの取り組み状況を取りまとめ、県民や道路利用者に情報発信するとともに、今後の対応方針の立案に活用していくものです。

宮城県道路メンテナンス会議 会長
(仙台河川国道事務所長) 中尾 吉宏

目 次

1 道路構造物の現状	1
(1) 道路構造物の管理者	1
(2) 道路構造物の急速な老朽化	1
2 宮城の道路メンテナンス概要について	2
(1) 概要	2
(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について	2
3 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果	3
(1) 2019年度(単年度)の点検結果(全道路管理者)	3
(2) 2019年度(単年度)の点検結果(管理者別)	4
(3) 2019年度点検実施施設における判定区分の遷移状況	7
4 1 巡目点検施設の修繕等措置の実施状況(2020年10月末時点)	10
(1) 判定区分Ⅲ・Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況	10
(2) 判定区分Ⅳの施設の措置状況	14
(3) 修繕等措置の取り組み事例	15
(4) 橋梁の損傷傾向	19
(5) 個別施設計画の策定状況	21
5 道路メンテナンス会議の取り組み	23
6 資料編(東北と県全体の比較)	25
7 巻末資料	34

1 道路構造物の現状

(1) 道路構造物の管理者

県内の道路には、橋梁やトンネル、道路附属物等といった道路構造物があります。このうち、特に数が多い橋梁では、約7割(約8,600橋)を市町村で管理しています。

表1-1 道路管理者別の道路構造物等内訳

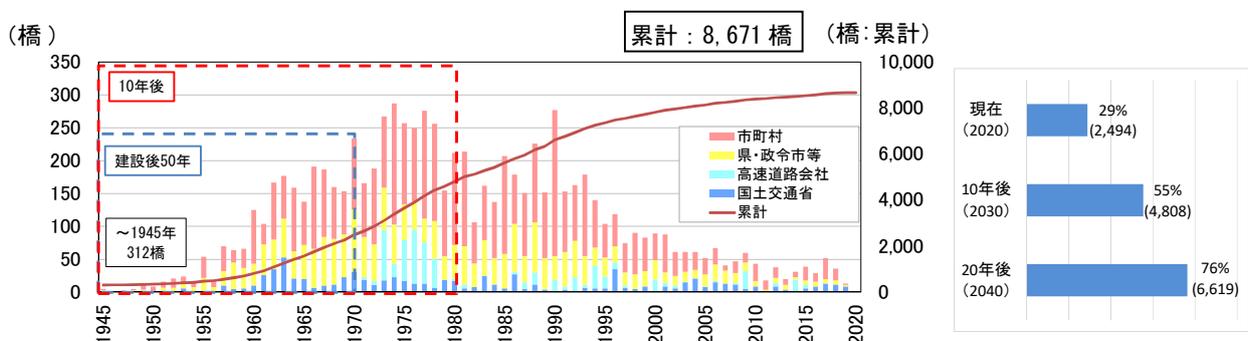
管理者	道路延長 (km)	橋梁 (橋)	トンネル (箇所)	道路附属物等 (施設)	道路附属物等			
					シェッド	大型カルバート	横断歩道橋	門型標識等
国土交通省	663	824	28	194	6	69	52	67
高速道路会社	179	602	4	168	0	106	0	62
県・政令市等	3,305	2,708	78	145	22	32	64	27
市町村	22,114	8,577	30	20	3	7	9	1
合計	26,262	12,711	140	527	31	214	125	157

※2020年3月末時点
 ※道路延長は「道路統計年報2019」より集計

(2) 道路構造物の急速な老朽化

橋梁やトンネル、道路附属物等といった道路構造物は、その多くが高度経済成長期に建設され、今後、これらの道路構造物の老朽化が急速に進む見込みです。

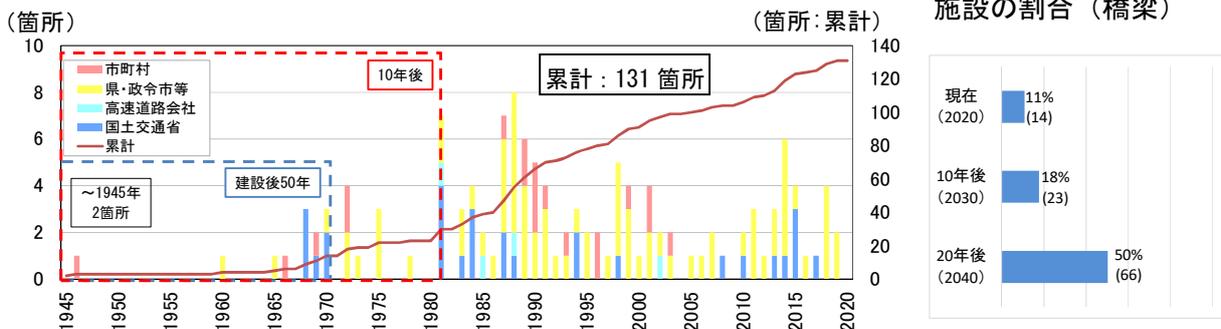
特に構造物数の多い橋梁でみると、建設後50年を経過した橋梁は、現在29%に対し、10年後には55%に増加するため、計画的・効率的なメンテナンスサイクルの構築が必要な状況です。



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約4,000橋ある。
 (出典) 道路局調べ(2020.3末時点)

図1-1 建設年代別施設数(橋梁)

図1-2 建設後50年を経過した施設の割合(橋梁)



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが9箇所ある。
 (出典) 道路局調べ(2020.3末時点)

図1-3 建設年代別施設数(トンネル)

図1-4 建設後50年を経過した施設の割合(トンネル)

2 宮城の道路メンテナンス概要について

(1) 概要

- 宮城県道路メンテナンス会議では、県民・道路利用者に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解頂くため、点検の実施状況や結果等を「宮城の道路メンテナンス概要」としてとりまとめています。
- 橋梁・トンネル・道路附属物等^{*}については、2014～2018年度における1巡目点検（以降、1巡目点検）が完了し、2019年度より2巡目の点検に着手したところです。
- 今回は、下記についてとりまとめました。
 - 2019年度（単年度）における点検結果
 - 2019年度点検実施施設における判定区分の遷移状況
 - 1巡目点検施設の修繕等措置の実施状況（2020年10月末時点）
- この調査結果は、点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案等に活用します。

道路の老朽化の現状はどうなっているのだろうか。

→地域毎のデータ、経年的な変化等、様々な観点から県内の道路施設の老朽化の実態を把握することができます。

今後どのように措置していくのか。

→各道路管理者は、自らの管理施設の老朽化の実態を踏まえ、今後の措置方針を立案していくこととなります。

^{*}道路附属物等：シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について

全ての道路管理者は、2013年の道路法改正等を受け、2014年7月より5年に1回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

健全性の診断は、以下の4段階に区分します。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。



写真2-1 橋梁点検状況



写真2-2 トンネル点検状況

3 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果

(1) 2019年度(単年度)の点検結果(全道路管理者)

全道路管理者の2019年度の点検実施率は、橋梁19%、トンネル23%、道路附属物等15%です。

判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ14%、Ⅱ76%、Ⅲ10%、Ⅳ0.1%、トンネル：Ⅰ7%、Ⅱ37%、Ⅲ57%、Ⅳ0%、道路附属物等：Ⅰ38%、Ⅱ42%、Ⅲ21%、Ⅳ0%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。(次頁以降も同様)

表3-1 2019年度の点検実施率(全道路管理者)

	管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019年度点検実施数	点検実施率※2
橋梁	12,711	12,540	2,387	19% (14%)
トンネル	140	128	30	23% (17%)
道路附属物等	527	504	77	15% (9%)

※1：2020年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

2020.3末時点

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2014年度における点検実施率。

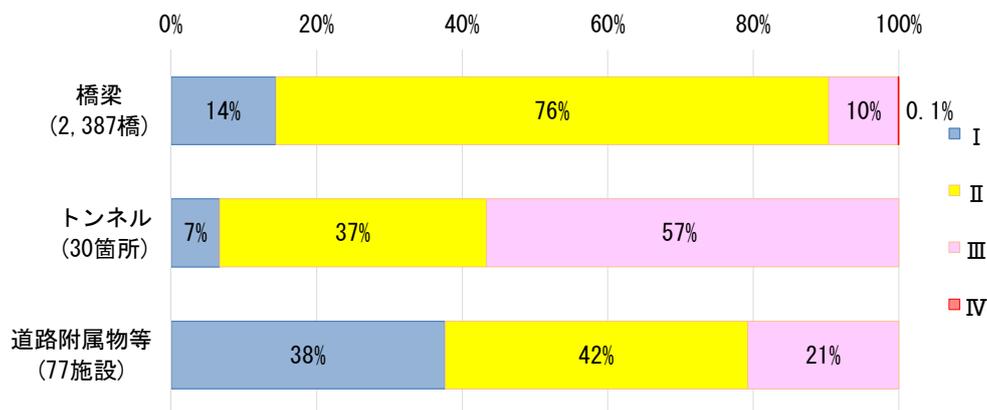


図3-1 2019年度の判定区分の割合(全道路管理者)

※()内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-2 2019年度の判定区分の割合(全道路管理者)

	2019年度点検実施数	判定区分			
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
橋梁	2,387	343	1,814	228	2
		14%	76%	10%	0.1%
トンネル	30	2	11	17	0
		7%	37%	57%	0%
道路附属物等	77	29	32	16	0
		38%	42%	21%	0%

2020.3末時点

(2) 2019 年度（単年度）の点検結果（管理者別）

① 橋梁

橋梁の 2019 年度の点検実施率は、19%です。

判定区分の割合は、I 14%、II 76%、III 10%、IV 0.1%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

表 3-3 2019 年度の点検実施率（橋梁）

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019 年度点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	824	774	130	17% (9%)
高速道路会社	602	597	110	18% (10%)
県・政令市等	2,708	2,679	504	19% (6%)
市町村	8,577	8,490	1,643	19% (17%)
合計	12,711	12,540	2,387	19% (14%)

※1：2020年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

2020.3 末時点

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2014年度における点検実施率。

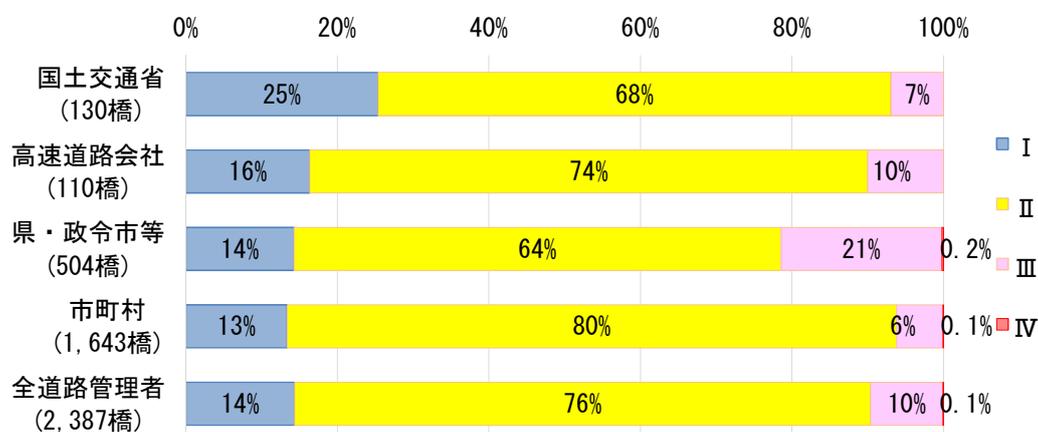


図 3-2 2019 年度の判定区分の割合（橋梁）

※ ()内は、2019 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

表 3-4 2019 年度の判定区分の割合（橋梁）

管理者	2019 年度点検実施数	判定区分			
		I	II	III	IV
国土交通省	130	33	88	9	0
		25%	68%	7%	0%
高速道路会社	110	18	81	11	0
		16%	74%	10%	0%
県・政令市等	504	72	324	107	1
		14%	64%	21%	0.2%
市町村	1,643	220	1,321	101	1
		13%	80%	6%	0.1%
合計	2,387	343	1,814	228	2
		14%	76%	10%	0.1%

2020.3 末時点

②トンネル

トンネルの2019年度の点検実施率は、23%です。

判定区分の割合は、Ⅰ 7%、Ⅱ 37%、Ⅲ 57%、Ⅳ 0%です。

表3-5 2019年度の点検実施率（トンネル）

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019年度点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	28	24	3	13% (9%)
高速道路会社	4	4	1	25% (25%)
県・政令市等	78	70	19	27% (22%)
市町村	30	30	7	23% (13%)
合計	140	128	30	23% (17%)

※1：2020年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

2020.3末時点

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。（）内は、2014年度における点検実施率。



図3-3 2019年度の判定区分の割合（トンネル）

※（）内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-6 2019年度の判定区分の割合（トンネル）

管理者	2019年度点検実施数	判定区分			
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	3	0	2	1	0
		0%	67%	33%	0%
高速道路会社	1	0	1	0	0
		0%	100%	0%	0%
県・政令市等	19	2	3	14	0
		11%	16%	74%	0%
市町村	7	0	5	2	0
		0%	71%	29%	0%
合計	30	2	11	17	0
		7%	37%	57%	0%

2020.3末時点

③道路附属物等

道路附属物等の2019年度の点検実施率は、15%です。

判定区分の割合は、Ⅰ 38%、Ⅱ 42%、Ⅲ 21%、Ⅳ 0%です。

表3-7 2019年度の点検実施率（道路附属物等）

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019年度点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	194	183	30	16% (0%)
高速道路会社	168	167	30	18% (24%)
県・政令市等	145	138	12	9% (0%)
市町村	20	16	5	31% (38%)
合計	527	504	77	15% (9%)

※1：2020年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

2020.3末時点

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2014年度における点検実施率。



図3-4 2019年度の判定区分の割合（道路附属物等）

※ ()内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-8 2019年度の判定区分の割合（道路附属物等）

管理者	2019年度点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	30	15	6	9	0
		50%	20%	30%	0%
高速道路会社	30	12	17	1	0
		40%	57%	3%	0%
県・政令市等	12	2	4	6	0
		17%	33%	50%	0%
市町村	5	0	5	0	0
		0%	100%	0%	0%
合計	77	29	32	16	0
		38%	42%	21%	0%

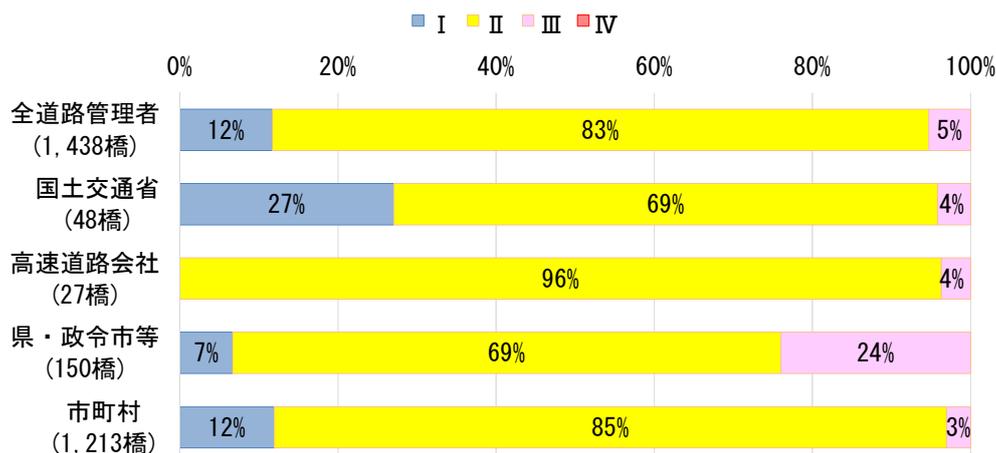
2020.3末時点

(3) 2019年度点検実施施設における判定区分の遷移状況

① 橋梁

1巡目の2014年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者で5%です。

橋梁では、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合と建設年数の間に明らかな関係性は見られません。



※ () 内は、1巡目（2014年度）の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった橋梁数の内、修繕等の措置を講じないまま2019年度に点検を実施した橋梁数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

図3-5 管理者別の判定区分の遷移状況

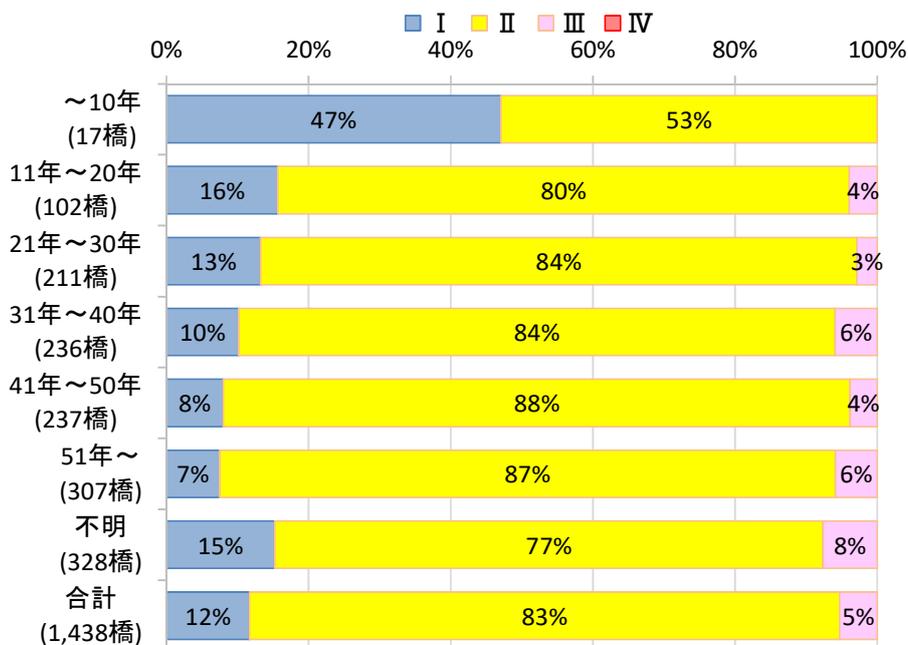


図3-6 建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

②トンネル

1巡目の2014年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者で57%です。

トンネルでは、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合と建設年数の間に明らかな関係性は見られません。

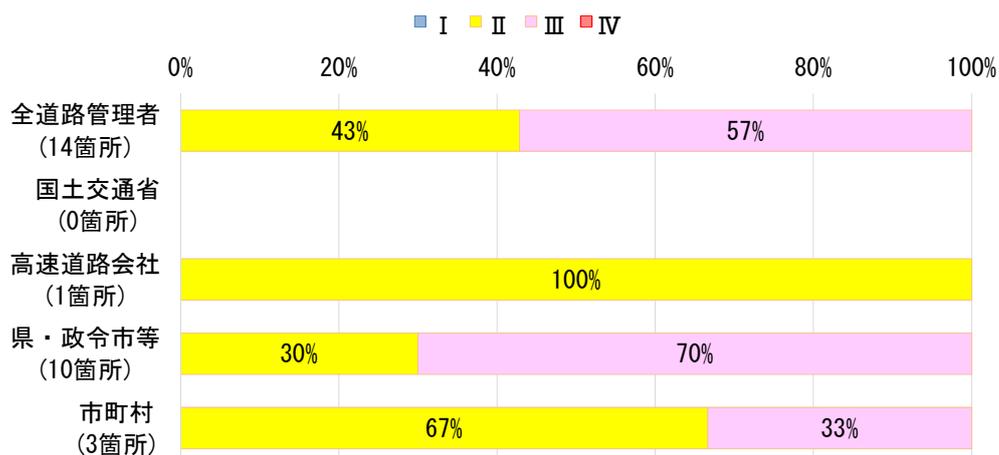


図3-7 管理者別の判定区分の遷移状況

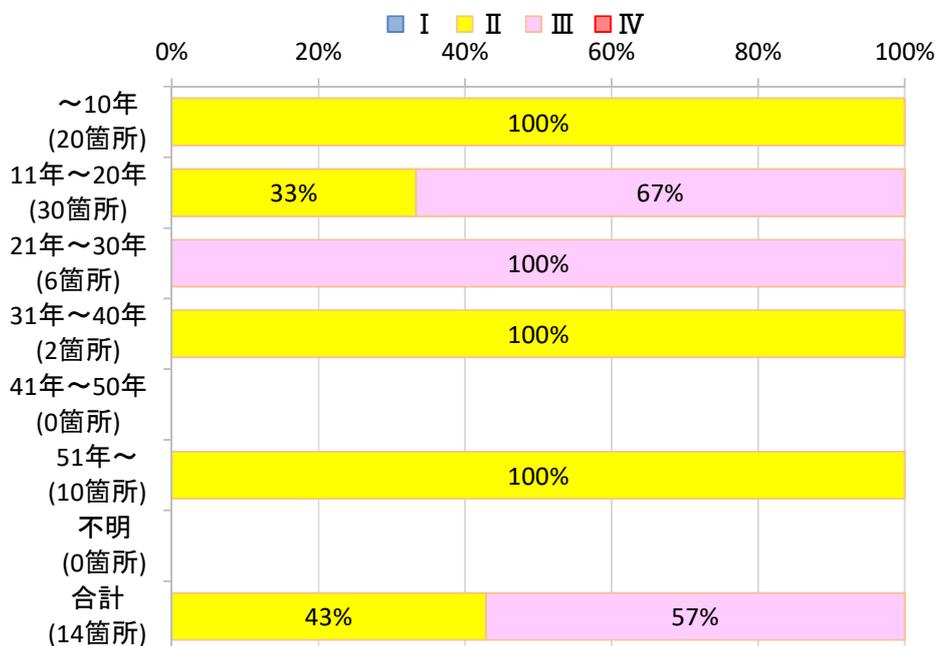


図3-8 建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

③道路附属物等

1 巡目の2014年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した施設はありません。

道路附属物等では、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合と建設年数の間に明らかな関係性は見られません。

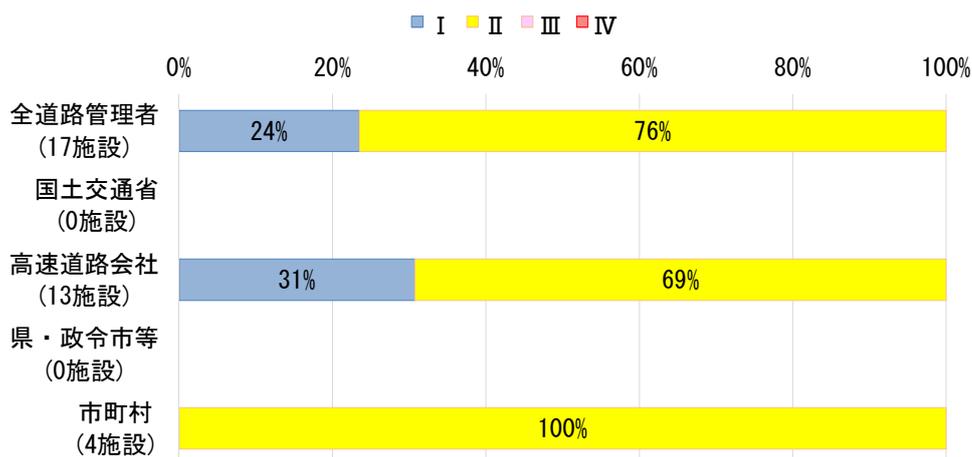


図3-9 管理者別の判定区分の遷移状況

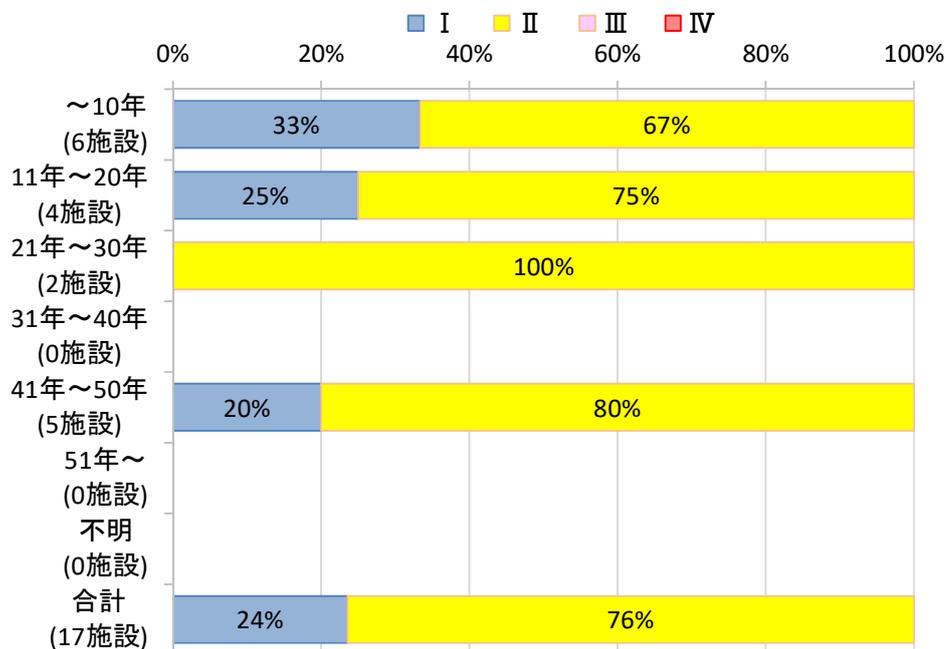


図3-10 建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

4 1 巡目点検施設の修繕等措置の実施状況（2020年10月末時点）

（1）判定区分Ⅲ・Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況

各施設の修繕等措置については、定期点検の判定区分に応じて対策等を行います。

○判定区分Ⅳ

「構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態」と診断された施設は、損傷発見後、緊急に措置を講ずることとしています。

○判定区分Ⅲ

「構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態」と診断された施設は、次回点検まで（5年以内）に措置を講ずることとしています。

1）判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況（2020年10月末時点）

1 巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳと診断された施設の措置着手率（2020年10月末時点）は、橋梁 65%、トンネル 92%、道路附属物等 67%となっています。

表 4-1 判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置の実施状況（全道路管理者）

	措置が必要な 施設数 A	措置に着手済 の施設数 B (B/A)	措置に着工済 の施設数 C (C/A)	措置完了済 の施設数 D (D/A)
橋梁	1,250	808 (65%)	440 (35%)	365 (29%)
トンネル	62	57 (92%)	30 (48%)	19 (31%)
道路附属物等	86	58 (67%)	29 (34%)	15 (17%)

2020.10 末時点

判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置 (2014~2018)

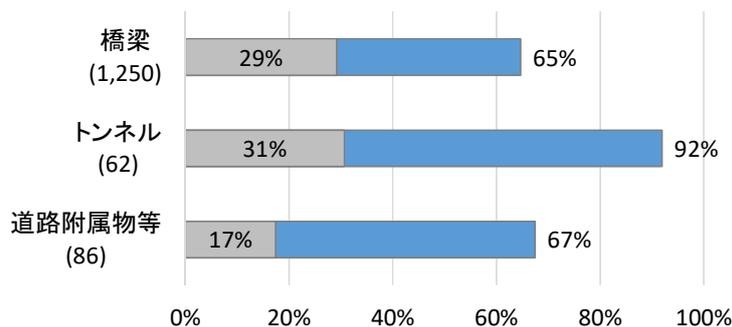


図 4-1 判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置(2014年度~2018年度)

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

措置完了率 : 措置が完了した割合(D/A)

2020.10 末時点

①橋梁

○判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置※¹の実施状況

1 巡目点検で判定区分Ⅲ又はⅣと診断された橋梁で、2020年10月末までに修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省 87%、高速道路会社 59%、地方公共団体 63%です。

表4-2 橋梁の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

	措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着工済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(D/A)	
						0%	100%	0%	100%
国土交通省	102	89 (87%)	37 (36%)	35 (34%)	2014	100%	100%	100%	100%
					2015	45%	100%	100%	100%
					2016	28%	100%	100%	100%
					2017	4%	64%	64%	64%
					2018	13%	75%	75%	75%
高速道路会社	85	50 (59%)	28 (33%)	25 (29%)	2014	100%	100%	100%	100%
					2015	0%	100%	100%	100%
					2016	49%	69%	69%	69%
					2017	13%	65%	65%	65%
					2018	0%	20%	20%	20%
地方公共団体計	1,063	669 (63%)	375 (35%)	305 (29%)	2014	74%	93%	93%	93%
					2015	34%	65%	65%	65%
					2016	22%	72%	72%	72%
					2017	7%	41%	41%	41%
					2018	6%	32%	32%	32%
県・政令市等	492	252 (51%)	119 (24%)	80 (16%)	2014	44%	88%	88%	88%
					2015	17%	60%	60%	60%
					2016	25%	67%	67%	67%
					2017	8%	44%	44%	44%
					2018	7%	3%	3%	3%
市町村	571	417 (73%)	256 (45%)	225 (39%)	2014	77%	93%	93%	93%
					2015	45%	68%	68%	68%
					2016	16%	81%	81%	81%
					2017	4%	35%	35%	35%
					2018	9%	52%	52%	52%
合計	1,250	808 (65%)	440 (35%)	365 (29%)		29%	65%	65%	65%

2020.10 末時点

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

措置完了率 : 措置が完了した割合(D/A)

※1: 監視を除く

※2: 1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数

②トンネル

○判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置※¹の実施状況

1 巡目点検で判定区分Ⅲ又はⅣと診断されたトンネルで、2020年10月末までに修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省100%、高速道路会社100%、地方公共団体91%です。

表4-3 トンネルの判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

	措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着工済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(D/A)	
						0%	100%	0%	100%
国土交通省	6	6 (100%)	5 (83%)	5 (83%)	2014	100%	100%	100%	100%
					2015	100%	100%	100%	100%
					2016	0%	100%	0%	100%
					2017	0%		0%	
					2018	0%		0%	
高速道路会社	1	1 (100%)	1 (100%)	0 (0%)	2014	0%		0%	
					2015	0%		0%	
					2016	0%		0%	
					2017	0%	100%	0%	100%
					2018	0%		0%	
地方公共団体計	55	50 (91%)	24 (44%)	14 (25%)	2014	40%	80%	40%	80%
					2015	20%	100%	20%	100%
					2016	17%	100%	17%	100%
					2017	31%	90%	31%	90%
					2018	0%	75%	0%	75%
県・政令市等	42	42 (100%)	17 (40%)	7 (17%)	2014	50%	100%	50%	100%
					2015	20%	100%	20%	100%
					2016	0%	100%	0%	100%
					2017	19%	100%	19%	100%
					2018	0%	100%	0%	100%
市町村	13	8 (62%)	7 (54%)	7 (54%)	2014	0%		0%	
					2015	0%		0%	
					2016	67%	100%	67%	100%
					2017	63%	63%	63%	63%
					2018	0%		0%	
合計	62	57 (92%)	30 (48%)	19 (31%)		31%	92%	31%	92%

2020.10 末時点

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

措置完了率 : 措置が完了した割合(D/A)

※1: 監視を除く

※2: 1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数

③道路附属物等

○判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置※¹の実施状況

1 巡目点検で判定区分Ⅲ又はⅣと診断された道路附属物等で、2020年10月末までに修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省48%、高速道路会社86%、地方公共団体72%です。

表4-4 道路附属物等の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

	措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着工済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(D/A)	
						0%	20%	40%	60%
国土交通省	21	10 (48%)	0 (0%)	0 (0%)	2014	0%			
					2015	0%			
					2016	0%	83%		
					2017	0%			
					2018	0%			
高速道路会社	7	6 (86%)	3 (43%)	3 (43%)	2014	100%		100%	
					2015	50%	100%		
					2016	0%			
					2017	50%	100%		
					2018	0%	50%		
地方公共団体計	58	42 (72%)	26 (45%)	12 (21%)	2014	0%			
					2015	29%	89%		
					2016	17%	100%		
					2017	0%	20%		
					2018	0%			
県・政令市等	56	42 (75%)	26 (46%)	12 (21%)	2014	0%			
					2015	29%	89%		
					2016	17%	100%		
					2017	0%	20%		
					2018	0%			
市町村	2	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2014	0%			
					2015	0%			
					2016	0%			
					2017	0%			
					2018	0%			
合計	86	58 (67%)	29 (34%)	15 (17%)		17%	67%		

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

措置完了率 : 措置が完了した割合(D/A)

2020.10末時点

※1: 監視を除く

※2: 1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数

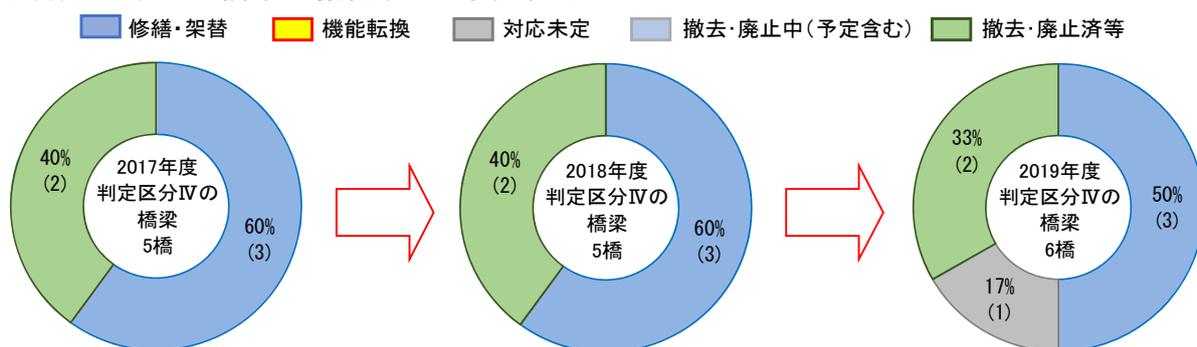
(2) 判定区分Ⅳの施設の措置状況

2019年度末時点で判定区分Ⅳと診断された橋梁は、6橋あり、3橋は措置済み、2橋は撤去済みの状況です。またトンネル及び道路附属物等は、2019年度末時点で判定区分Ⅳと診断された施設はありませんでした。

老朽化した道路インフラの適正な維持管理を行っていくうえでも、ライフサイクルコストや地域の状況を踏まえて、必要に応じて施設の集約化・撤去などにより合理化を図っていく必要があります。

※Ⅳ判定の施設リストは巻末資料(4)を参照

○判定区分Ⅳの橋梁の措置状況(予定含む)



(3) 修繕等措置の取り組み事例

①判定区分Ⅲの修繕事例（橋梁）

施設名：^{しんいのかわぼし}新飯野川橋
 管理者：国土交通省
 仙台河川国道事務所
 路線名：国道45号
 位置：宮城県石巻市
 建設年：1974年（昭和49年）
 主な損傷：鋼部材の腐食、
 防食機能の劣化



写真4-1 【全景】新飯野川橋



写真4-2 【損傷】
鋼部材の腐食及び防食機能の劣化



写真4-3 【対策】
床版取替、防護柵取替等

施設名：^{かにさわぼし}蟹沢橋
 管理者：国土交通省
 仙台河川国道事務所
 路線名：国道4号
 位置：宮城県栗原市
 建設年：1961年（昭和36年）
 主な損傷：橋台豎壁の剥離、鉄筋露出



写真4-4 【全景】蟹沢橋



写真4-5 【損傷】
豎壁の剥離、鉄筋露出



写真4-6 【対策】断面修復

施設名 : ^{ごしょぼし}御所橋
 管理者 : 富谷市
 路線名 : 市道御所橋線
 位置 : 宮城県富谷市
 建設年 : 1971年(昭和46年)
 主な損傷 : 床版のひびわれ、
 主桁等の腐食



写真4-7 【全景】御所橋



写真4-8 【損傷】床版ひびわれ



写真4-9 【対策】
鋼板接着工法、塗装塗替等

施設名 : ^{かんのんぼし}観音橋
 管理者 : 名取市
 路線名 : 名取市道三日町川上線
 位置 : 宮城県名取市
 建設年 : 1992年(平成4年)
 主な損傷 : 主桁の腐食、橋面劣化、
 防護柵腐食等



写真4-10 【全景】観音橋



写真4-11 【損傷】
主桁の腐食、橋面劣化、防護柵腐食等



写真4-12 【対策】
塗装塗替、舗装・防水層、防護柵交換等

施設名：新北沢橋
 管理者：国土交通省
 仙台河川国道事務所
 路線名：国道45号
 位置：宮城県登米市
 建設年：1971年（昭和46年）
 主な損傷：主桁（A1・A2）の腐食、
 排水管の劣化



写真4-13 【全景】新北沢橋



写真4-14 【損傷】
主桁端部の腐食

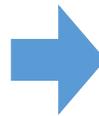


写真4-15 【対策】
当て板補修、排水管取替等

施設名：広瀬川橋
 管理者：東日本高速道路株式会社
 路線名：東北縦貫自動車道 弘前線
 位置：宮城県仙台市
 建設年：1975年（昭和50年）
 主な損傷：床版のエフロレッセンス（※）
 ひびわれ

※エフロレッセンス：コンクリート内の可溶性物質が水分と反応・結合し、水分が蒸発する際などに外部に析出する現象



写真4-16 【全景】広瀬川橋



写真4-17 【損傷】
床版のエフロレッセンス、ひびわれ



写真4-18 【対策】床版取替

②判定区分Ⅲの修繕事例（横断歩道橋）

施設名	しらさわおうだんほどうきょう
管理者	国土交通省 仙台河川国道事務所
路線名	国道48号
位置	宮城県仙台市
建設年	1984年（昭和59年）
主な損傷	P3橋脚腐食、板厚減少



写真4-19 【全景】白沢横断歩道橋



写真4-20 【損傷】
腐食、板厚減少



写真4-21 【対策】当て板補修

(4) 橋梁の損傷傾向

1) 地勢

宮城県は、奥羽山脈の影響を受ける積雪地域や寒冷な平野部があり、冬期は厳しい気象条件となっています。

また、重要港湾等を抱えており、東北の経済産業の中核都市として位置付けられています。そのため、交通量、重交通量が多いことから、積雪が比較的少ない平野部においても、全域にわたって凍結抑制剤が散布されている実態があります。



図4-2 宮城県の地域的特徴

【凍結抑制剤による損傷事例】



写真4-19 RC床版のひびわれ
錆汁を伴う漏水・遊離石灰

【凍害による損傷事例】



写真4-20 沓座部コンクリートの剥離

2) 長寿命化に向けて

橋梁の損傷の多くは支承や橋桁端部に集中しており、伸縮装置からの凍結抑制剤の塩分を含んだ漏水が原因と考えられます。また、床版においても、路面水の浸透が劣化を早める原因と考えられます。このため、伸縮装置や橋面の止水・防水・排水対策等を適切に行い、長寿命化を図ることが重要となっています。

3) 凍結抑制剤の影響

凍結抑制剤の散布量の影響について分析した結果、散布量が少ない橋梁に比べ、散布量が多い橋梁の健全度が低い傾向です。

部材別では、上部工部材（主桁、横桁、床版）の損傷が多い傾向が見られます。

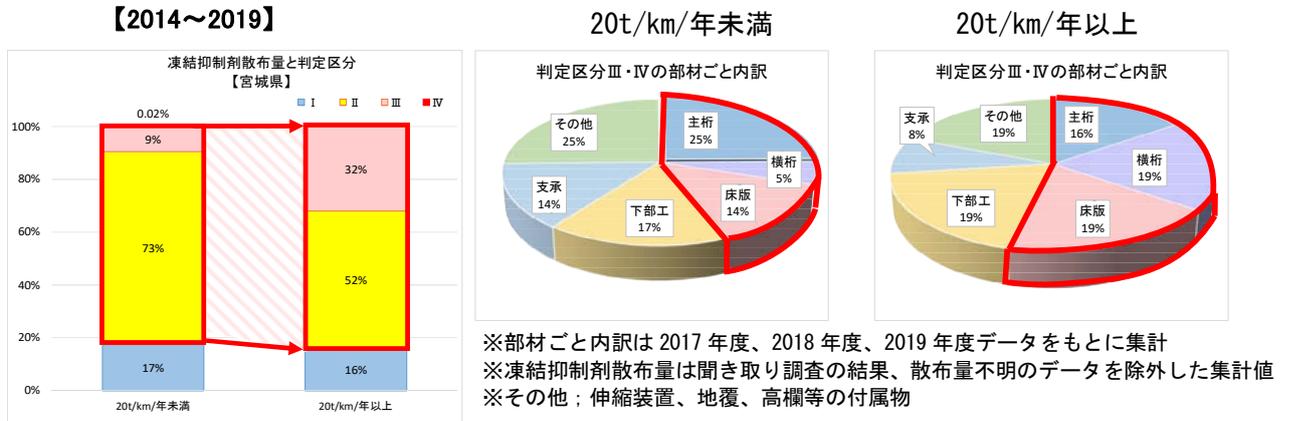


図 4 - 3 凍結抑制剤散布量別の橋梁判定区分及び判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳

4) 塩害の影響

飛来塩分の影響について分析した結果、内陸部に位置する一般地域の橋梁に比べ、海岸線に近い塩害地域の橋梁の健全度が低い傾向です。

部材別では、主桁に影響が多く見受けられます。

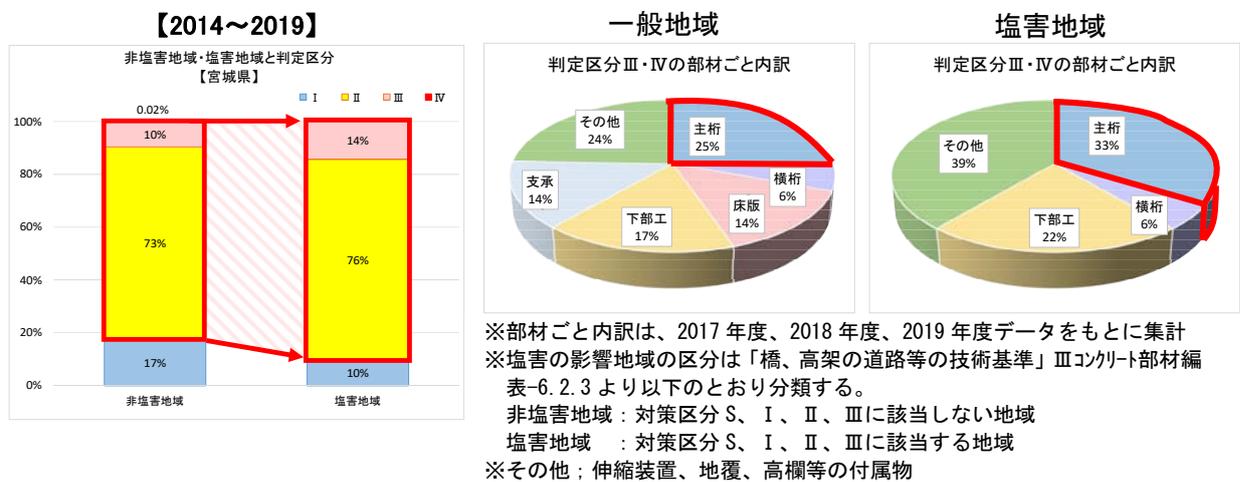


図 4 - 4 一般地域・塩害地域別の橋梁判定区分及び判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳

(5) 個別施設計画の策定状況

各道路管理者は、橋梁・トンネル・道路附属物等の定期点検の結果に基づき長寿命化修繕計画（個別施設計画）※を策定しています。

長寿命化修繕計画（個別施設計画）に基づき、メンテナンスサイクルを予防保全型へ転換することにより施設の長寿命化を図るものです。

また、長寿命化修繕計画（個別施設計画）は、計画的に対策を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減や維持管理費の平準化を目指します。

さらに、計画的な定期点検を行い、新たに措置が必要な施設についても確実に対策を実施していくため、長寿命化修繕計画（個別施設計画）はその都度更新します。

2019年度末時点における県内の市町村の長寿命化修繕計画（個別施設計画）の策定状況は、橋梁 94%、トンネル 67%、道路附属物等 55%となっています。市町村については、2020年度までに策定することで進められています。

※維持管理・更新等にかかるトータルコストの縮減・平準化を図る上で点検・診断等の結果を踏まえた個別施設毎の具体的な対応方針を定めた計画

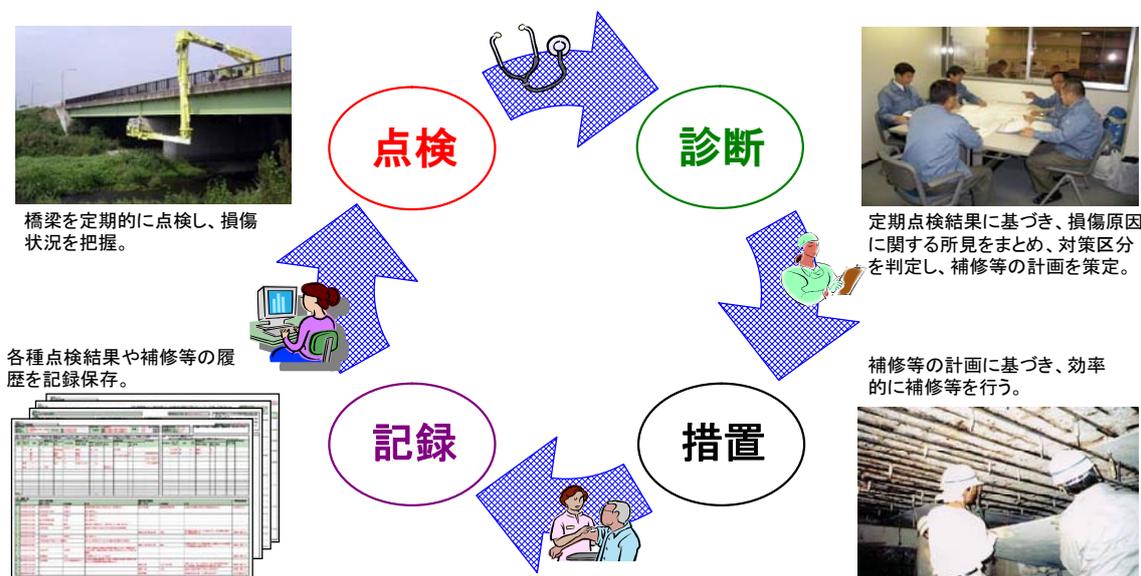
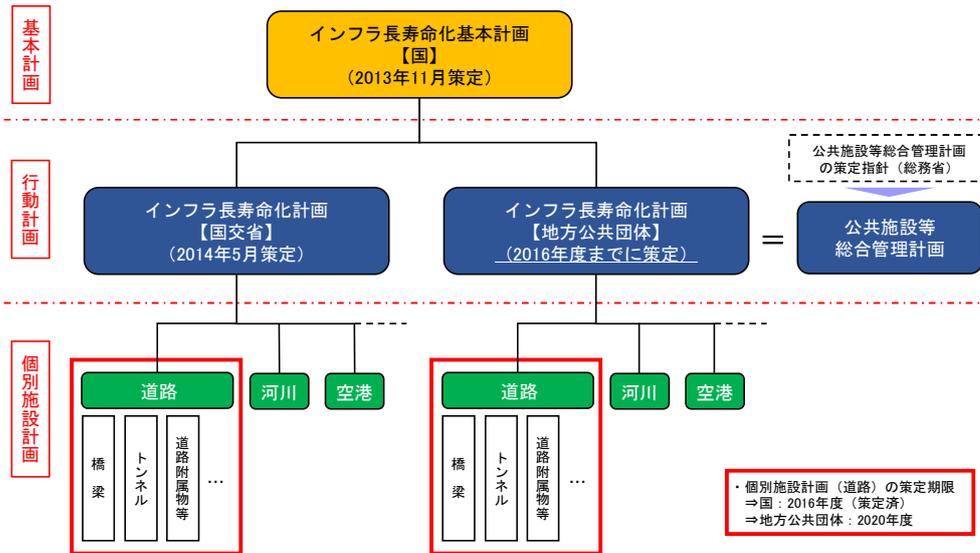


図 4-5 橋梁保全のマネジメント図

○ インフラ長寿命化計画の体系



○ 個別施設計画の策定状況 (2019年度末時点)

表4-5 個別施設計画の策定状況

〈橋梁〉				〈トンネル〉				〈道路附属物等〉			
管理者	策定率	管理団体数	計画策定団体数	管理者	策定率	管理団体数	計画策定団体数	管理者	策定率	管理団体数	計画策定団体数
国土交通省	100%	1	1	国土交通省	100%	1	1	国土交通省	100%	1	1
高速道路会社	100%	1	1	高速道路会社	100%	1	1	高速道路会社	100%	1	1
県・政令市等	100%	2	2	県・政令市等	100%	2	2	県・政令市等	100%	2	2
市町村	94%	34	32	市町村	67%	15	10	市町村	55%	11	6

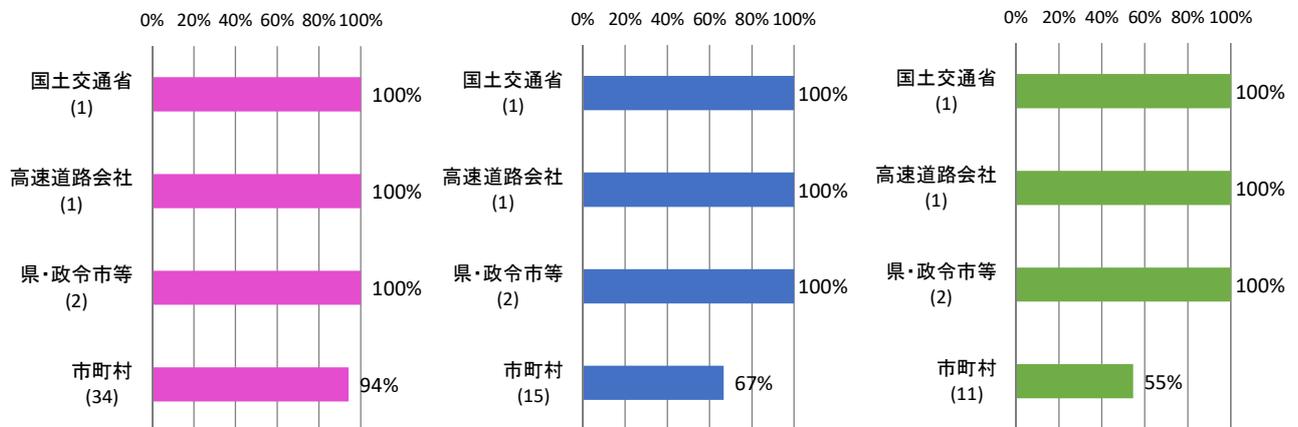


図4-6 個別施設計画の策定率

※()は団体数

※割合は個別施設計画策定対象の施設を管理する団体数により算出

※道路附属物等は横断歩道橋、門型標識等、シェッド、大型カルバートであり、いずれかの施設の個別施設計画が策定されていれば策定済みとしている

5 道路メンテナンス会議の取り組み

宮城県道路メンテナンス会議は、インフラの老朽化対策が社会的な課題となり、橋梁・トンネル等の定期的な点検がスタートした2014年度に、技術力の向上、インフラの長寿命化の推進、さらには道路インフラの維持管理についての情報共有や課題解決への連携と道路の管理を効果的に行っていくことが急務であるとして、県内の道路管理者が一体的連携を図るための組織として設置されました。

特に市町村では、道路構造物の維持管理についての技術ノウハウや土木技術系職員が不足しているなど課題がある中で、道路インフラを適正に維持管理していくことが重要であるため、宮城県道路メンテナンス会議では、市町村の技術的支援に重点をおいた活動を展開しています。



写真5-1 溝橋点検講習会



写真5-2

橋梁の大規模修繕現場見学会



写真5-3 広報活動状況

(ハイウェイフェスタとうほく2019)



写真5-4 パネル展示状況

○これまでの取り組み

表5-1 取り組み経緯

年度	月	会議開催	研修・講習会	広報活動
2014 (H26)	4~6	6/10 道路メンテナンス会議設立 第1回会議		6/24~7/ 3 道の駅三本木パネル展示 6/30~7/11 宮城県庁内パネル展示
	7~9	9/1 第2回会議	8/5 学生による橋梁点検実習 大学生他参加者8名 9/10 現地研修会(名取大橋) 市町村参加者74名	8/ 4~29 青葉通地下道パネル展示
	10~12			11/15 現地見学会(多賀城橋) 一般参加者33名
	1~3	1/15 第3回会議 3/24 二道橋連絡会議(設立)		
2015 (H27)	4~6	6/8 第1回会議		
	7~9	8/28 第2回会議		
	10~12			12/11~1/8 道の駅三本木パネル展示 12/28~1/29 青葉通地下道パネル展示
1~3	1/14 第3回会議	1/28 現地研修会(柴田大橋) 市町村参加者48名	1/上~2/上 あら伊達な道の駅パネル展示 1/25~2/1日 宮城県庁内パネル展示	
2016 (H28)	4~6			
	7~9	7/13 第1回会議 7/25 二道橋連絡会議	7/19 現地研修会(高清水橋) 市町村参加者59名	
	10~12	11/9 メンテナンス意見交換会		11/12 親と子の道路メンテナンス体験会 一般参加者17名
	1~3	3/13 第2回会議 道路鉄道連絡会議 3/13 道路鉄道連絡会議	2/24 点検研修会(座学) 市町村参加者47名	2/16~28 青葉通地下道パネル展示 3/1~5/31 道の駅三本木パネル展示 3/1~5/31 あら伊達な道の駅パネル展示 ~5/31 道の駅三本木パネル展示 ~5/31 あら伊達な道の駅パネル展示
2017 (H29)	4~6			
	7~9	8/3 第1回会議 二道橋連絡会議	9/28 耐震講習会(名取川橋) 市町村参加者60名	9/16~17 ハイウェイフェスタとうほく2017
	10~12	12/19 第2回会議	11/7 橋梁点検研修(大童橋) 市町村参加者40名	
	1~3	2/27 第3回会議 道路鉄道連絡会議		
2018 (H30)	4~6			
	7~9	8/3 第1回会議	9/19 道路メンテナンス入門講座 市町村参加者17名	8/1~10 青葉通地下道ギャラリーパネル展示 9/22,23 ハイウェイフェスタとうほく2018 ブース開設、パネル展示
	10~12		10/2 既設橋の耐震対策講習会(綱木川橋) 市町村参加者17名 10/25 橋梁の大規模修繕現場見学会 (三迫川橋) 市町村参加者8名 11/27 構造物点検研修会(4号新葦神橋) 市町村参加者11名 12/5 構造物点検研修会(45号古川橋) 市町村参加者14名	
	1~3	2/20 道路鉄道連絡会議	2/7 橋梁点検研修(大童橋) 市町村参加者25名	1/16~31 青葉通地下道ギャラリーパネル展示 1/22~ あら伊達な道の駅パネル展示 1/22~ 道の駅三本木パネル展示 2/12~15 宮城県庁内パネル展示
	4~6			
2019 (H31) (R1)	4~6	4/12 道路メンテナンス会議 6/12 事務局会議	6/11 橋梁の大規模修繕現場見学会 場所: 迫川橋(東北道) 参加者20名 6/26 既設橋の耐震対策講習会 場所: 仙台南IC橋(東北道) 参加者10名	
	7~9	8/27 第1回道路メンテナンス会議	9/26 道路メンテナンス入門講座 場所: 仙台河川国道事務所 参加者6名	8/1~10 老朽化対策パネル展示 場所: 仙台市青葉地下道ギャラリー 9/21,22 ハイウェイフェスタとうほく 2019ブース開設、 老朽化対策パネル展示 場所: 仙台市勾当台公園
	10~12		10/ 9 溝橋点検講習会 場所: 国道48号西-10ボックス 愛子防災除雪ステーション 参加者18名 10/30 橋梁点検研修(建設センター) (台風19号の影響により中止) 11/28 点検支援技術活用講習会 場所: 国道4号名取大橋 仙台河川国道事務所 (参加者少数の為、中止)	10/7 県版道路メンテナンス概要公表 12/27~ 老朽化対策パネル展示 場所: 道の駅三本木 あ・ら・伊達な道の駅
	1~3	3/5 道路鉄道連絡会議 第2回道路メンテナンス会議 (コロナ対策で文書開催)		2/25~28 老朽化対策パネル展示 場所: 県庁1Fロビー
	4~6			

6 資料編（東北と県全体の比較）

(1) 建設年度別施設数・建設後 50 年経過した割合設	26
(2) 道路管理者別施設数内訳	27
(3) 2019 年度（単年度）道路管理者別点検結果内訳	28
(4) 2019 年度点検実施施設における道路管理者別判定区分の遷移状況	29
(5) 2019 年度点検実施施設における建設年数別の遷移状況	30
(6) 部材ごとの点検結果内訳（橋梁）	31
(7) 判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳（橋梁）	33

(1) 建設年度別施設数・建設後50年経過した割合

■ 橋梁

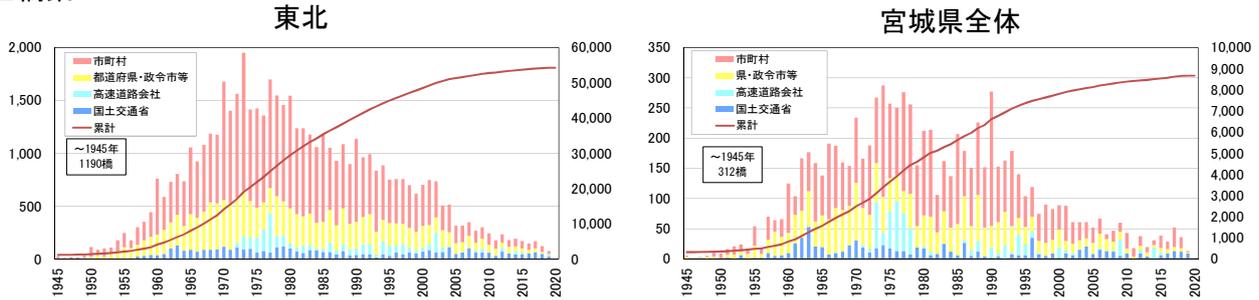


図6-1 建設年度別施設数

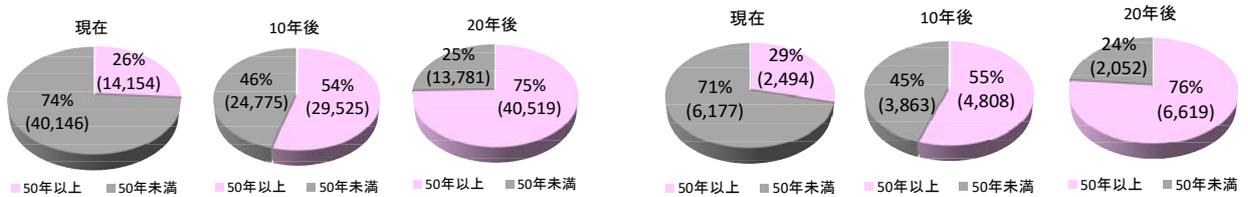


図6-2 建設後50年経過した割合

■ トンネル

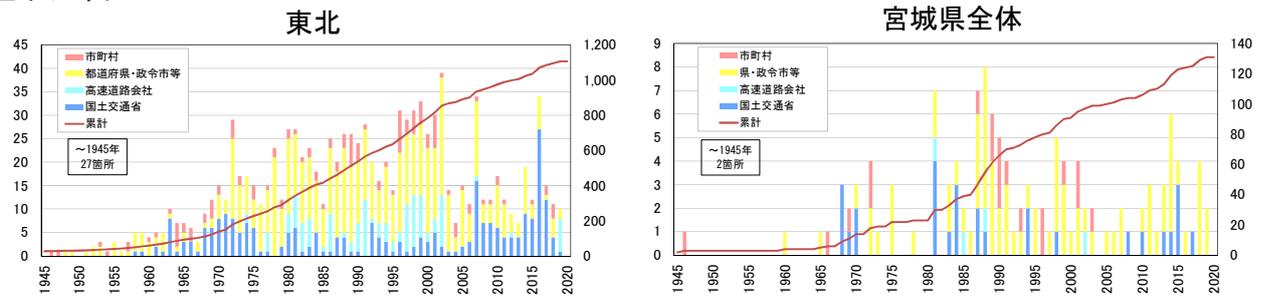


図6-3 建設年度別施設数

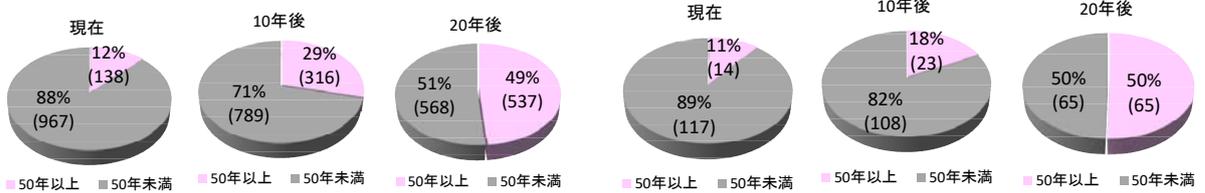


図6-4 建設後50年経過した割合

■ 道路附属物等

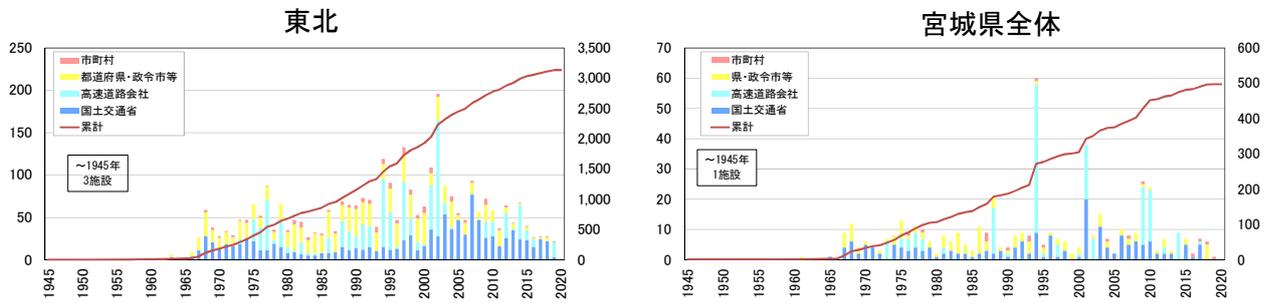


図6-5 建設年度別施設数

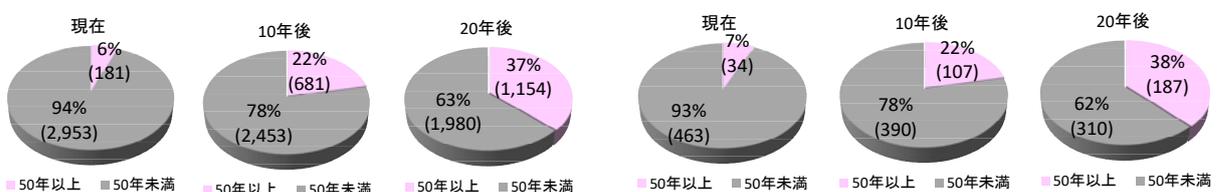


図6-6 建設後50年経過した割合

(2) 道路管理者別施設数内訳

■ 橋梁

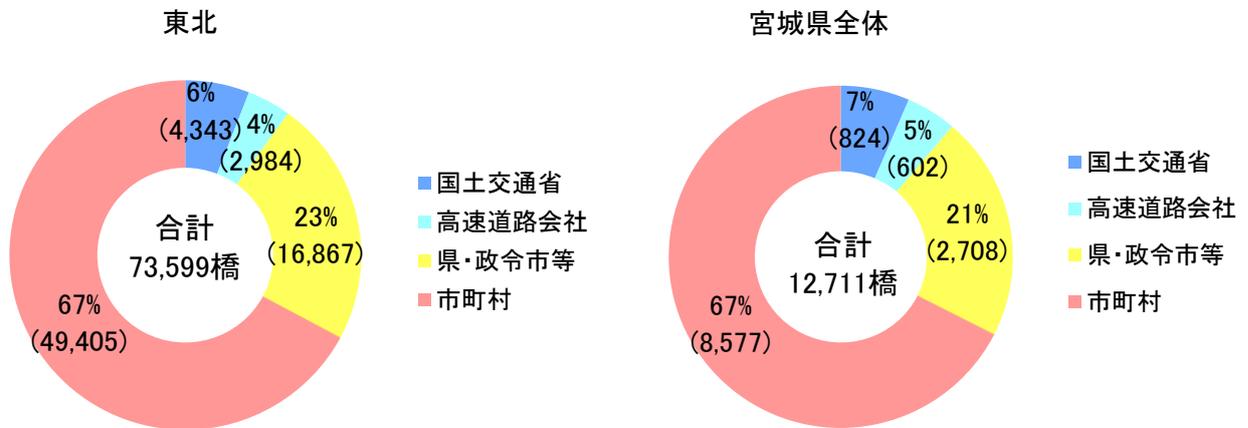


図 6-7 道路管理者別施設数内訳

■ トンネル

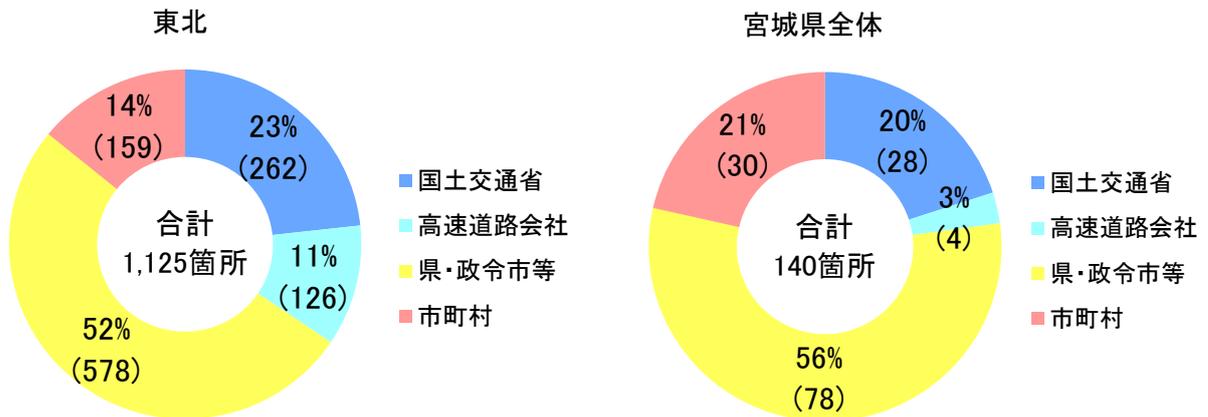


図 6-8 道路管理者別施設数内訳

■ 道路附属物等

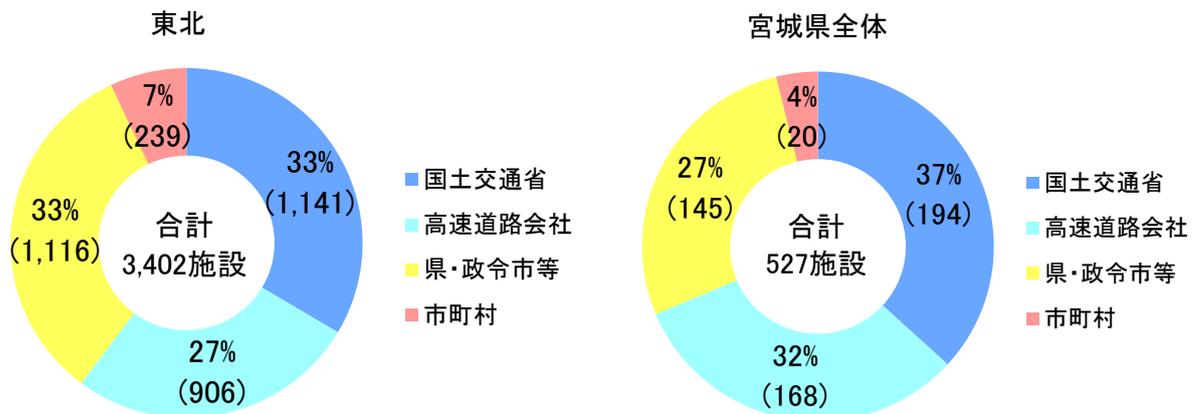


図 6-9 道路管理者別施設数内訳

(3) 2019年度(単年度)道路管理者別点検結果内訳

■ 橋梁

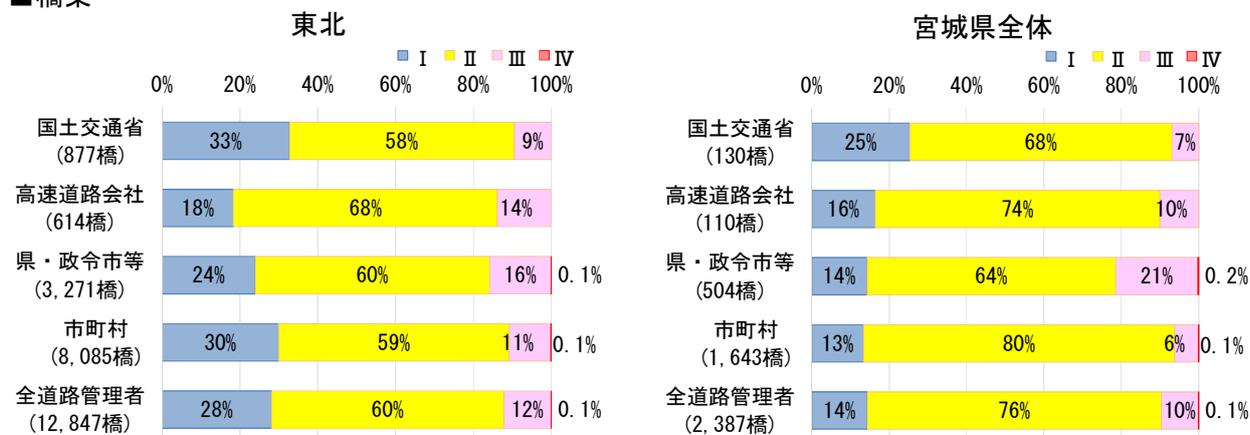


図6-10 2019年度(単年度)道路管理者別点検結果内訳

■ トンネル

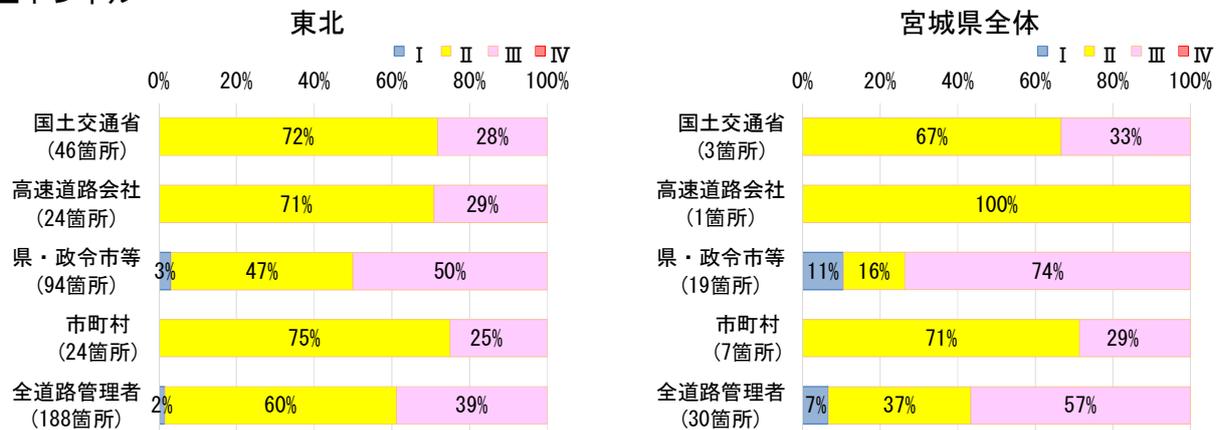


図6-11 2019年度(単年度)道路管理者別点検結果内訳

■ 道路附属物等

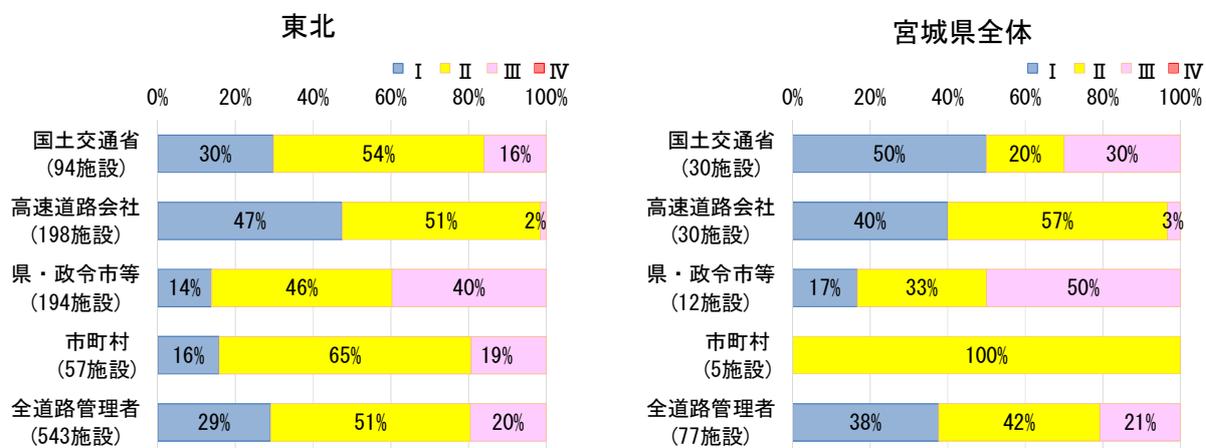


図6-12 2019年度(単年度)道路管理者別点検結果内訳

(4) 2019年度点検実施施設における道路管理者別判定区分の遷移状況

■ 橋梁

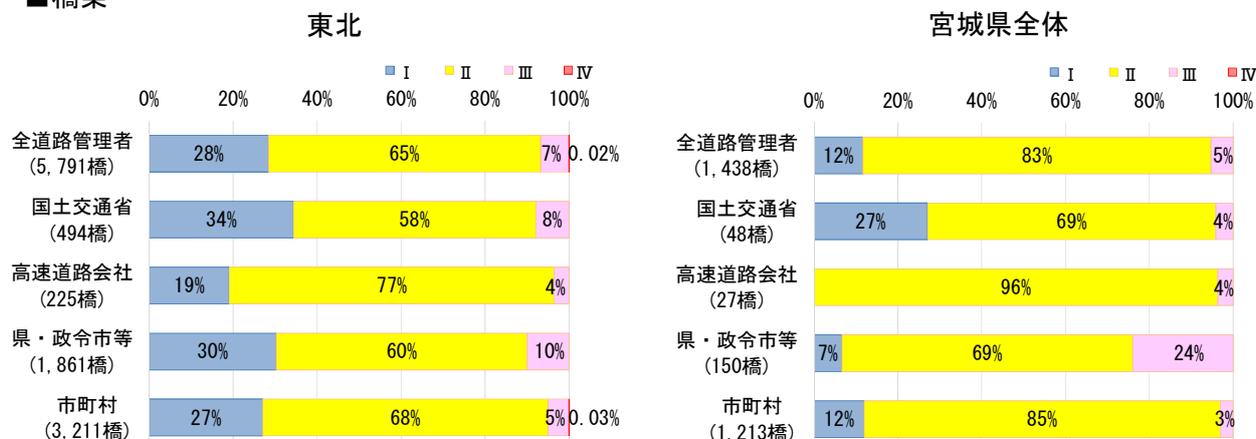


図6-13 道路管理者別判定区分の遷移状況

■ トンネル

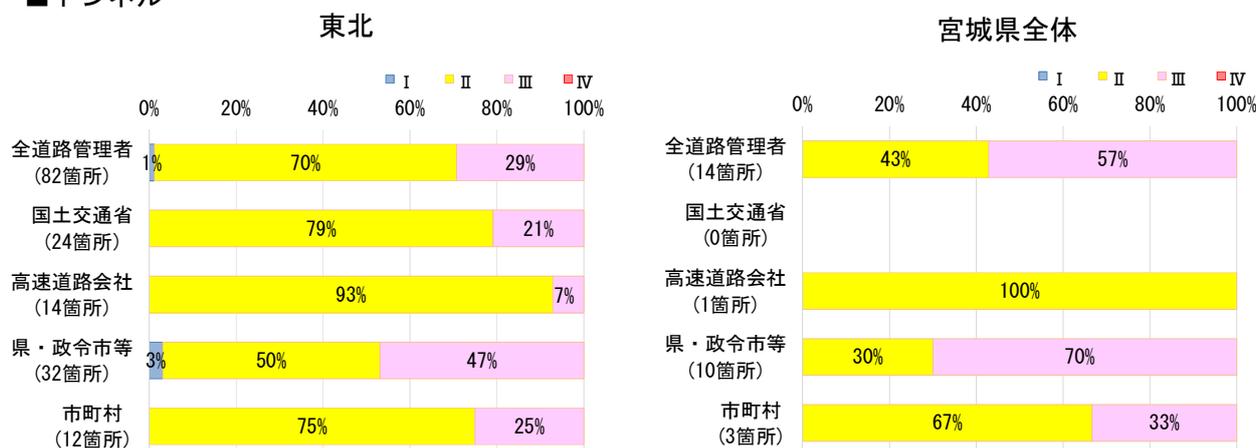


図6-14 道路管理者別判定区分の遷移状況

■ 道路附属物等

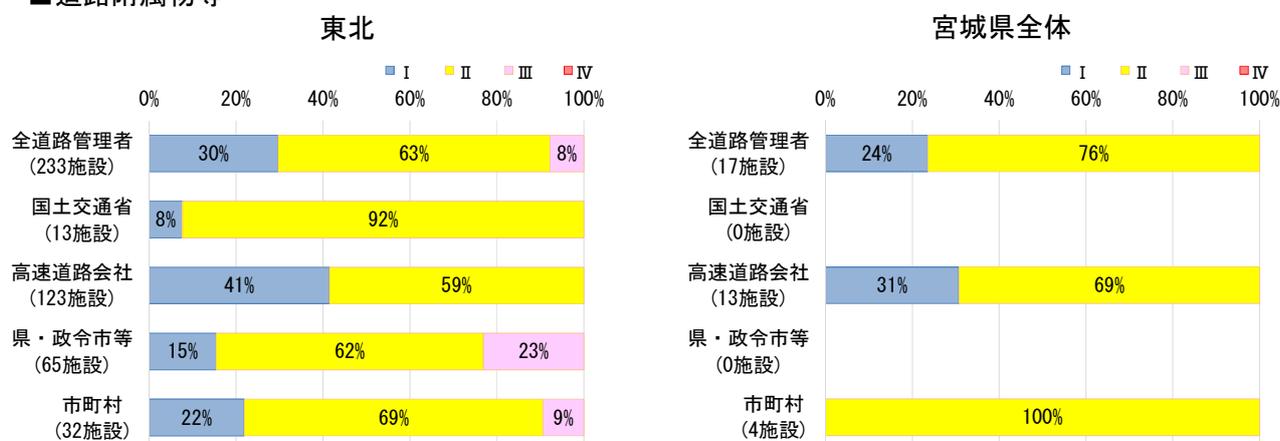


図6-15 道路管理者別判定区分の遷移状況

(5) 2019年度点検実施施設における建設年数別の遷移状況

■ 橋梁

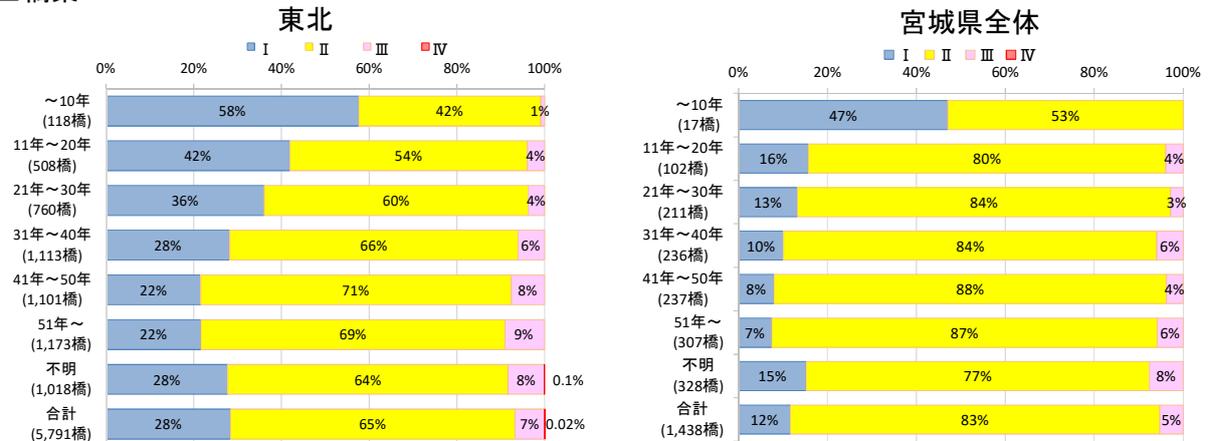


図6-16 建設年数別の判定区分の遷移状況

■ トンネル

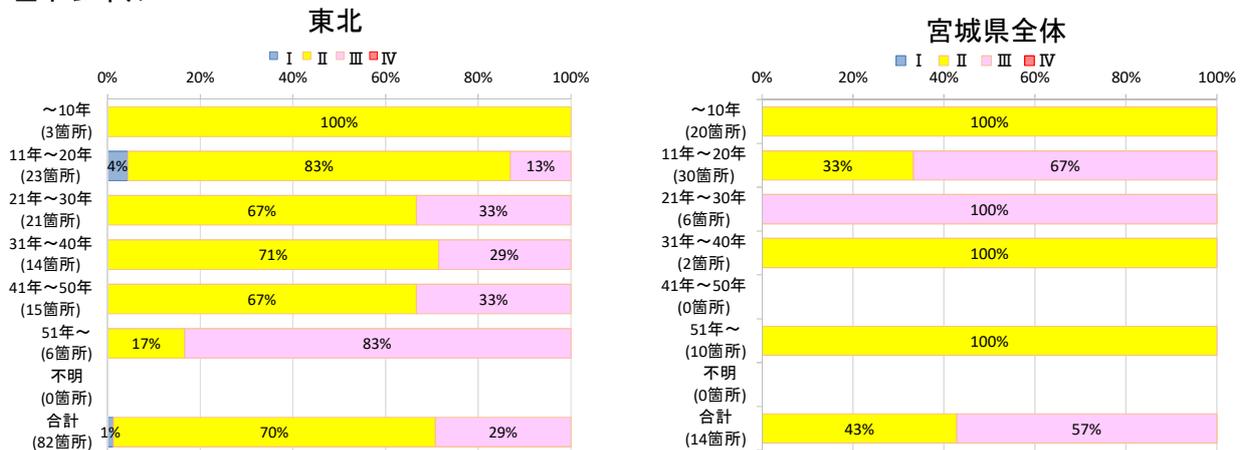


図6-17 建設年数別の判定区分の遷移状況

■ 道路附属物等

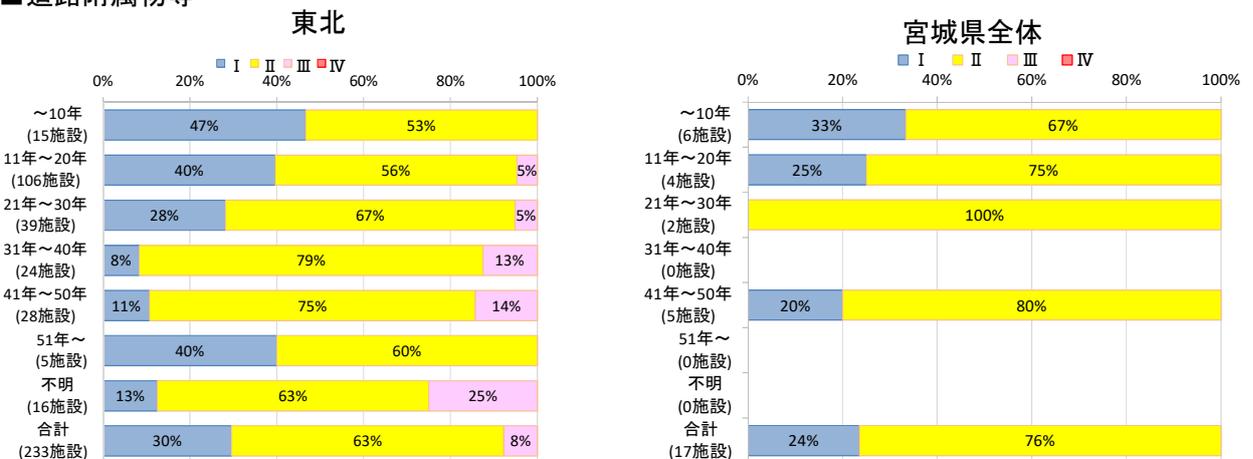


図6-18 建設年数別の判定区分の遷移状況

(6) 部材ごとの点検結果内訳 (橋梁)

1) 凍結抑制剤による部材への影響

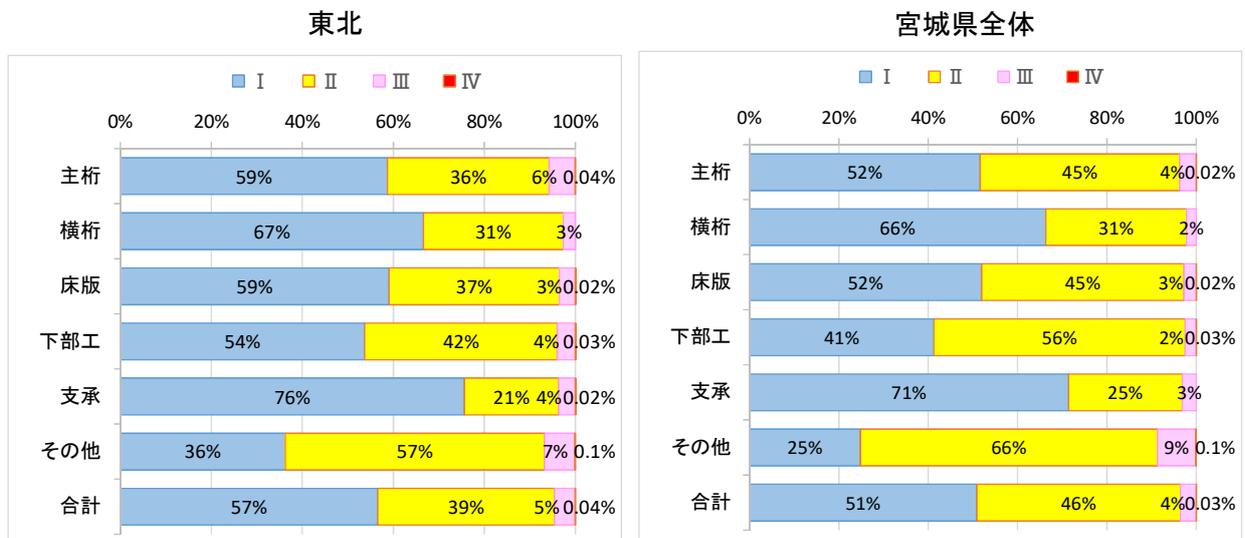


図 6-19 部材ごとの判定区分【散布量 20t/km/年未満】

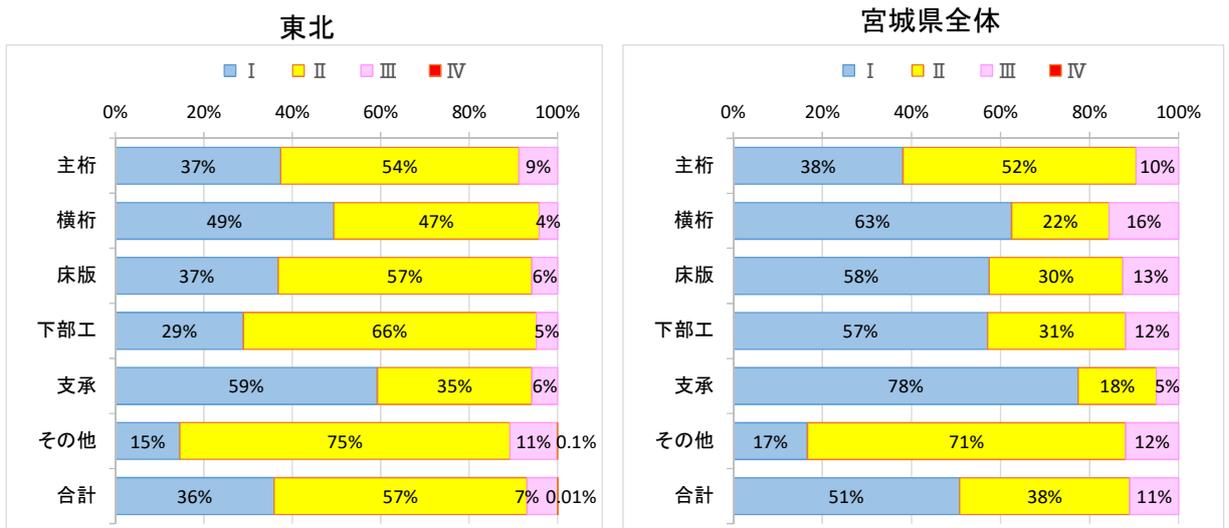


図 6-20 部材ごとの判定区分【散布量 20t/km/年以上】

※2017年度、2018年度、2019年度データをもとに集計

※凍結抑制剤散布量は聞き取り調査の結果、散布量不明のデータを除外した集計値

※その他：伸縮装置、地覆、高欄等の付属物

2) 塩害による部材への影響

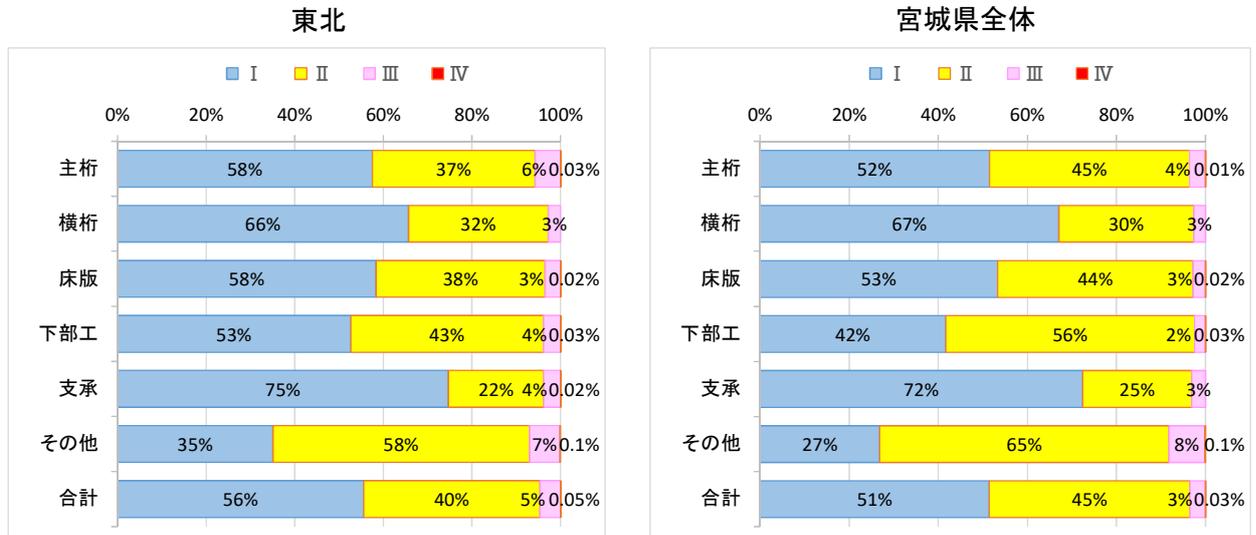


図6-2-1 部材ごとの判定区分【一般地域】

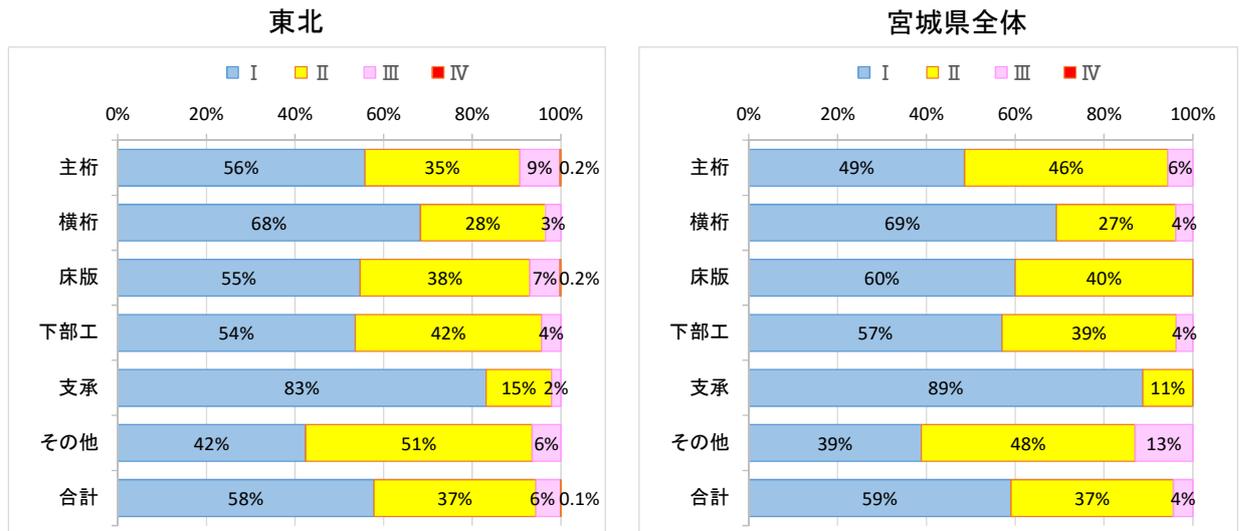


図6-2-2 部材ごとの判定区分【塩害地域】

※部材ごと内訳は、2017年度、2018年度、2019年度データをもとに集計
 ※塩害の影響地域の区分は「橋、高架の道路等の技術基準」Ⅲコンクリート部材編
 表-6.2.3より以下のとおり分類する。

一般地域：対策区分S、I、II、IIIに該当しない地域

塩害地域：対策区分S、I、II、IIIに該当する地域

※その他；伸縮装置、地覆、高欄等の付属物

(7) 判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳（橋梁）

■橋梁

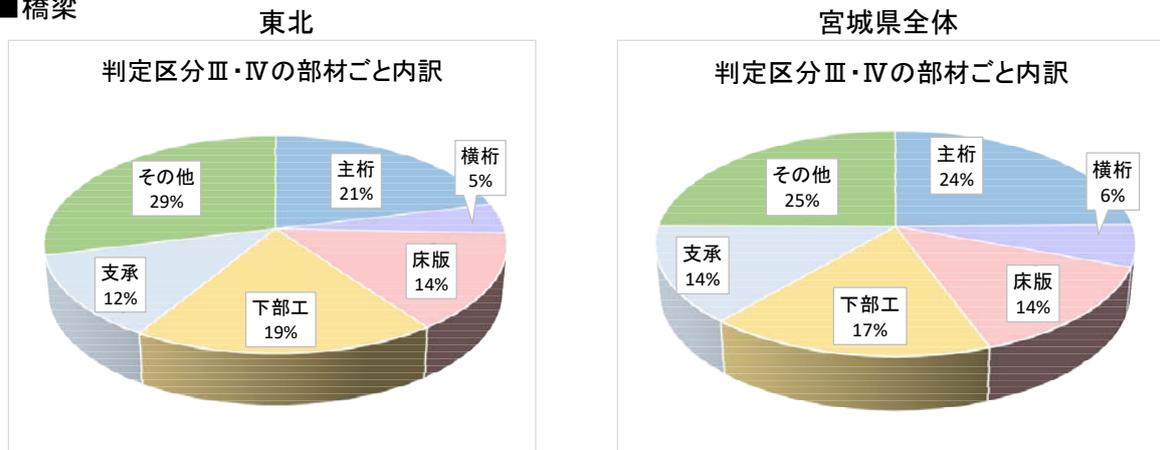


図6-23 判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳（全橋種）【橋梁】

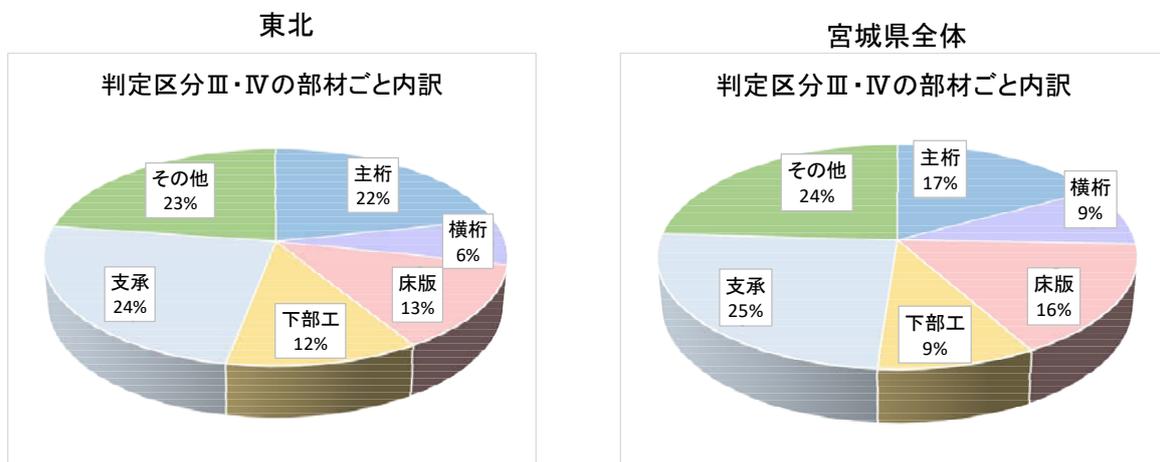


図6-24 判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳（鋼橋）【橋梁】

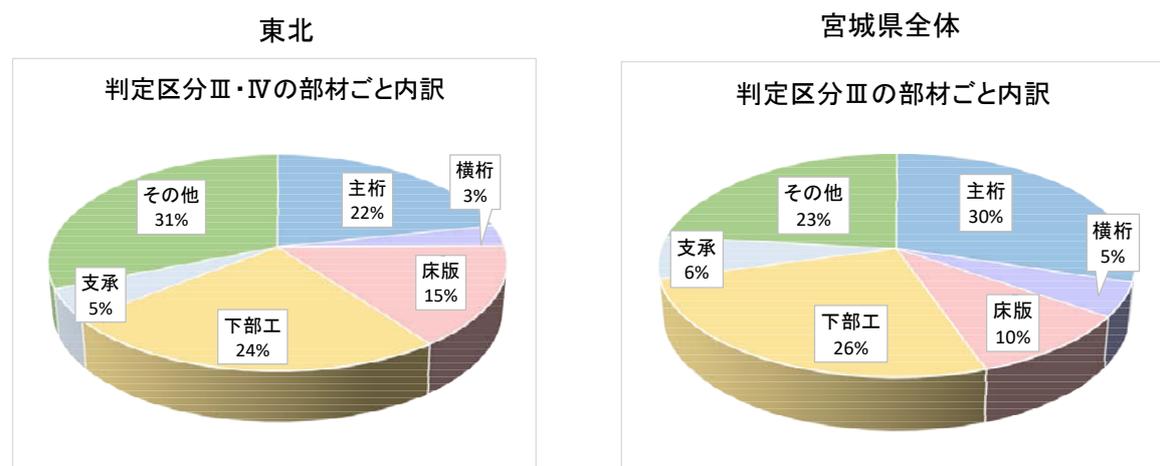


図6-25 判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳（コンクリート橋）【橋梁】

※2017年度、2018年度、2019年度データをもとに集計
※その他；伸縮装置、地覆、高欄等の付属物

7 巻末資料

(1) 道路管理者別の管理施設数	35
(2) 2019年度(単年度)道路管理者別の点検結果	36
(3) 道路管理者別の1巡目点検施設の修繕等措置の実施状況.....	39
(4) 判定区分Ⅳの施設リスト(2014年度～2019年度)	42
(5) 橋梁・トンネルの建設年度別施設数.....	43

(1) 道路管理者別の管理施設数

管理者	管理者名	管理施設数						
		橋梁	トンネル	道路附属物等				
					シェッド	大型カルバート	横断歩道橋	門型標識等
国土交通省	仙台河川国道事務所	824	27	194	6	69	52	67
	山形河川国道事務所	0	1	0	0	0	0	0
	国 小計	824	28	194	6	69	52	67
高速道路会社	NEXCO 東日本	602	4	168	0	106	0	62
県・政令市等	宮城県	1,789	66	62	19	12	24	7
	宮城県道路公社	32	0	12	0	12	0	0
	仙台市	887	12	71	3	8	40	20
	県・政令市等 小計	2,708	78	145	22	32	64	27
市町村	石巻市	907	4	2	0	0	2	0
	塩竈市	19	3	1	0	0	1	0
	気仙沼市	340	1	2	0	1	1	0
	白石市	336	0	0	0	0	0	0
	名取市	230	2	3	0	0	2	1
	角田市	279	0	0	0	0	0	0
	多賀城市	51	0	1	0	0	1	0
	岩沼市	167	0	0	0	0	0	0
	登米市	1,473	0	0	0	0	0	0
	栗原市	843	3	0	0	0	0	0
	東松島市	200	2	2	0	2	0	0
	大崎市	890	2	4	3	0	1	0
	富谷市	60	0	1	0	1	0	0
	蔵王町	106	0	1	0	1	0	0
	七ヶ宿町	58	4	0	0	0	0	0
	大河原町	107	1	0	0	0	0	0
	村田町	100	0	0	0	0	0	0
	柴田町	155	1	0	0	0	0	0
	川崎町	62	2	0	0	0	0	0
	丸森町	206	0	0	0	0	0	0
	亘理町	347	0	0	0	0	0	0
	山元町	230	0	0	0	0	0	0
	松島町	64	3	0	0	0	0	0
	七ヶ浜町	3	0	0	0	0	0	0
	利府町	42	1	0	0	0	0	0
	大和町	132	0	0	0	0	0	0
	大郷町	76	0	0	0	0	0	0
	大衡村	61	0	1	0	0	1	0
	色麻町	130	0	0	0	0	0	0
	加美町	265	0	0	0	0	0	0
	涌谷町	218	0	2	0	2	0	0
	美里町	283	0	0	0	0	0	0
	女川町	26	0	0	0	0	0	0
南三陸町	111	1	0	0	0	0	0	
市町村 小計	8,577	30	20	3	7	9	1	
合計	12,711	140	527	31	214	125	157	

2020.3 末時点

(2) 2019年度(単年度)道路管理者別の点検結果

■橋梁

表7-1 2019年度(単年度)道路管理者別の点検結果

管理者名	判定区分				合計
	I	II	III	IV	
仙台河川国道事務所	33	88	9	0	130
高速道路会社	18	81	11	0	110
宮城県	18	237	95	0	350
宮城県道路公社	0	0	0	0	0
仙台市	54	87	12	1	154
石巻市	5	55	1	0	61
塩竈市	1	14	4	0	19
気仙沼市	17	68	8	1	94
白石市	4	55	0	0	59
名取市	14	32	5	0	51
角田市	1	60	2	0	63
多賀城市	0	11	0	0	11
岩沼市	0	0	0	0	0
登米市	36	53	1	0	90
栗原市	11	72	20	0	103
東松島市	23	130	2	0	155
大崎市	51	173	26	0	250
富谷市	0	2	0	0	2
蔵王町	3	33	0	0	36
七ヶ宿町	0	0	0	0	0
大河原町	0	29	0	0	29
村田町	0	3	0	0	3
柴田町	9	80	5	0	94
川崎町	0	0	0	0	0
丸森町	0	0	0	0	0
亘理町	21	128	11	0	160
山元町	4	35	1	0	40
松島町	0	0	0	0	0
七ヶ浜町	0	3	0	0	3
利府町	1	16	0	0	17
大和町	0	84	3	0	87
大郷町	0	0	0	0	0
大衡村	0	0	0	0	0
色麻町	5	23	0	0	28
加美町	0	60	0	0	60
涌谷町	1	19	2	0	22
美里町	8	54	7	0	69
女川町	4	14	0	0	18
南三陸町	1	15	3	0	19
合計	343	1,814	228	2	2,387

2020.3 末時点

■トンネル

表 7-2 2019 年度(単年度)道路管理者別の点検結果

管理者名	判定区分				合計
	I	II	III	IV	
仙台河川国道事務所	0	2	0	0	2
山形河川国道事務所	0	0	1	0	1
高速道路会社	0	1	0	0	1
宮城県	2	0	14	0	16
宮城県道路公社	0	0	0	0	0
仙台市	0	3	0	0	3
石巻市	0	0	0	0	0
塩竈市	0	0	0	0	0
気仙沼市	0	0	0	0	0
白石市	0	0	0	0	0
名取市	0	1	1	0	2
角田市	0	0	0	0	0
多賀城市	0	0	0	0	0
岩沼市	0	0	0	0	0
登米市	0	0	0	0	0
栗原市	0	0	0	0	0
東松島市	0	0	0	0	0
大崎市	0	0	0	0	0
富谷市	0	0	0	0	0
蔵王町	0	0	0	0	0
七ヶ宿町	0	0	0	0	0
大河原町	0	0	0	0	0
村田町	0	0	0	0	0
柴田町	0	0	0	0	0
川崎町	0	0	0	0	0
丸森町	0	0	0	0	0
亶理町	0	0	0	0	0
山元町	0	0	0	0	0
松島町	0	2	1	0	3
七ヶ浜町	0	1	0	0	1
利府町	0	0	0	0	0
大和町	0	0	0	0	0
大郷町	0	0	0	0	0
大衡村	0	0	0	0	0
色麻町	0	0	0	0	0
加美町	0	0	0	0	0
涌谷町	0	0	0	0	0
美里町	0	0	0	0	0
女川町	0	1	0	0	1
南三陸町	0	0	0	0	0
合計	2	11	17	0	30

2020.3 末時点

■道路附属物等

表 7-3 2019 年度(単年度)道路管理者別の点検結果

管理者名	判定区分				合計
	I	II	III	IV	
仙台河川国道事務所	15	6	9	0	30
高速道路会社	12	17	1	0	30
宮城県	0	1	3	0	4
宮城県道路公社	0	0	0	0	0
仙台市	2	3	3	0	8
石巻市	0	0	0	0	0
塩竈市	0	1	0	0	1
気仙沼市	0	1	0	0	1
白石市	0	0	0	0	0
名取市	0	1	0	0	1
角田市	0	0	0	0	0
多賀城市	0	1	0	0	1
岩沼市	0	0	0	0	0
登米市	0	0	0	0	0
栗原市	0	0	0	0	0
東松島市	0	1	0	0	1
大崎市	0	0	0	0	0
富谷市	0	0	0	0	0
蔵王町	0	0	0	0	0
七ヶ宿町	0	0	0	0	0
大河原町	0	0	0	0	0
村田町	0	0	0	0	0
柴田町	0	0	0	0	0
川崎町	0	0	0	0	0
丸森町	0	0	0	0	0
亘理町	0	0	0	0	0
山元町	0	0	0	0	0
松島町	0	0	0	0	0
七ヶ浜町	0	0	0	0	0
利府町	0	0	0	0	0
大和町	0	0	0	0	0
大郷町	0	0	0	0	0
大衡村	0	0	0	0	0
色麻町	0	0	0	0	0
加美町	0	0	0	0	0
涌谷町	0	0	0	0	0
美里町	0	0	0	0	0
女川町	0	0	0	0	0
南三陸町	0	0	0	0	0
合計	29	32	16	0	77

2020.3 末時点

(3) 道路管理者別の1巡目点検施設の修繕等措置の実施状況

■ 橋梁

表7-4 1巡目点検施設、道路管理者別の判定区分Ⅲ、Ⅳ修繕等措置の実施数

A: 措置が必要な施設数 B: 措置に着手済の施設数
C: 措置に着手済の施設数 D: 措置完了済の施設数

管理者名	2014				2015				2016				2017				2018				合計			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
仙台河川国道事務所	16	16	16	16	20	20	11	9	25	25	7	7	25	16	1	1	16	12	2	2	102	89	37	35
高速道路会社	5	5	5	5	2	2	0	0	35	24	17	17	23	15	6	3	20	4	0	0	85	50	28	25
宮城県	16	14	9	7	51	30	15	8	120	75	38	27	118	57	24	13	62	4	2	1	367	180	88	56
宮城県道路公社	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	2	2	1	0
仙台市	0	0	0	0	2	2	1	1	75	55	28	22	41	12	0	0	5	1	1	1	123	70	30	24
石巻市	4	4	4	4	3	2	2	2	1	1	1	1	10	8	2	2	14	1	1	1	32	16	10	10
塩竈市	1	1	1	1	0	0	0	0	3	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	3	1
気仙沼市	5	5	3	3	21	5	4	4	7	5	3	3	0	0	0	0	2	2	1	1	35	17	11	11
白石市	0	0	0	0	2	0	0	0	5	2	1	1	2	1	1	1	6	3	0	0	15	6	2	2
名取市	8	8	6	5	3	3	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13	7	6
角田市	2	2	0	0	3	2	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	10	5	1	0
多賀城市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0
岩沼市	4	4	4	3	0	0	0	0	4	4	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	8	6
登米市	0	0	0	0	1	1	1	1	37	36	7	2	16	2	0	0	6	2	0	0	60	41	8	3
栗原市	13	11	0	0	1	1	0	0	4	3	0	0	33	5	0	0	5	0	0	0	56	20	0	0
東松島市	18	18	17	16	0	0	0	0	9	9	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	27	27	18	17
大崎市	103	103	103	102	14	14	14	14	4	4	4	3	5	5	2	0	25	25	10	2	151	151	133	121
富谷市	0	0	0	0	4	2	1	1	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	8	1	1
蔵王町	4	4	4	4	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	6	5
七ヶ宿町	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
大河原町	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	5	5
村田町	0	0	0	0	3	3	3	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	3	3
柴田町	8	6	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	9	7	5	4
川崎町	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
丸森町	0	0	0	0	6	3	1	1	3	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	14	3	1	1
亶理町	12	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	4	1	1
山元町	0	0	0	0	3	3	3	1	7	7	1	1	2	2	0	0	2	1	1	1	14	13	5	3
松島町	0	0	0	0	2	2	1	0	3	0	0	0	2	2	0	0	1	1	1	1	8	5	2	1
七ヶ浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利府町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0
大和町	4	2	2	2	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	8	3	2	2
大郷町	0	0	0	0	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3
大衡村	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
色麻町	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	1	1
加美町	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0	9	3	2	2
涌谷町	5	5	4	4	1	1	0	0	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	13	6	4	4
美里町	6	6	1	1	5	5	2	2	11	11	4	2	1	1	0	0	5	5	0	0	28	28	7	5
女川町	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3
南三陸町	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2
合計	244	228	194	187	155	108	67	54	379	280	122	93	288	129	37	20	184	63	20	11	1,250	808	440	365

※1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除いた施設数(2020.10末時点)

■トンネル

表7-5 1 巡目点検施設、道路管理者別の判定区分Ⅲ、Ⅳ修繕等措置の実施数

A: 措置が必要な施設数 B: 措置に着手済の施設数
C: 措置に着手済の施設数 D: 措置完了済の施設数

管理者名	2014				2015				2016				2017				2018				合計			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
仙台河川国道事務所	1	1	1	1	3	3	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	4	4	
山形河川国道事務所	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	
高速道路会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	
宮城県	4	4	4	2	5	5	3	1	9	9	1	0	17	17	3	1	1	1	0	36	36	11	4	
宮城県道路公社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
仙台市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	3	2	2	2	6	6	6	3	
石巻市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	0	0	0	2	2	2	2	
塩竈市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	
気仙沼市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0		
白石市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
名取市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		
角田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
多賀城市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩沼市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
登米市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
栗原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東松島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大崎市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
富谷市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
蔵王町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3	0	0	0	3	3	3	3	
大河原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
村田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
柴田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
川崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
丸森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
亘理町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山元町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
松島町	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2	2	
七ヶ浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
利府町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大衡村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
色麻町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
加美町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
涌谷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
女川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南三陸町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	7	6	6	4	8	8	6	4	13	13	3	2	30	27	13	9	4	3	2	62	57	30	19	

※1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除いた施設数（2020.10末時点）

■道路附属物等

表7-6 1 巡目点検施設、道路管理者別の判定区分Ⅲ、Ⅳ修繕等措置の実施数

A: 措置が必要な施設数 B: 措置に着手済の施設数
C: 措置に着工済の施設数 D: 措置完了済の施設数

管理者名	2014				2015				2016				2017				2018				合計			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
仙台河川国道事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	12	10	0	0	8	0	0	0	1	0	0	0	21	10	0	0
高速道路会社	1	1	1	1	2	2	1	1	0	0	0	0	2	2	1	1	2	1	0	0	7	6	3	3
宮城県	0	0	0	0	19	17	10	5	0	0	0	0	7	0	0	0	1	0	0	0	27	17	10	5
宮城県道路公社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
仙台市	0	0	0	0	19	17	13	6	6	6	3	1	3	2	0	0	1	0	0	0	29	25	16	7
石巻市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
塩竈市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
気仙沼市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
白石市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
名取市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
角田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
多賀城市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
岩沼市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
登米市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
栗原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東松島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大崎市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	
富谷市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
蔵王町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大河原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
村田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
柴田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
川崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
丸森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
亘理町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山元町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
松島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
七ヶ浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
利府町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大衡村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
色麻町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
加美町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
涌谷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
美里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
女川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南三陸町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	2	1	1	1	40	36	24	12	18	16	3	1	20	4	1	1	6	1	0	0	86	58	29	15

※1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除いた施設数（2020.10末時点）

(4) 判定区分Ⅳの施設リスト (2014年度～2019年度)

■橋梁

○判定区分Ⅳの橋梁の措置状況 (予定含む)

管理者	計	管理中				撤去・ 廃止済 ※2	計
		修繕・ 架替	撤去・ 廃止	機能転換 ※1	対応未定		
県・政令市等	1	0	0	0	1	0	1
市町村	5	3	0	0	0	2	5
合計	6	3	0	0	1	2	6

※1：機能転換とは、既存の施設を、他の施設として利用すること。

※2：判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※国土交通省、高速道路会社管理の橋梁は健全度Ⅳの施設なし。

○県・政令市等 (1橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2020.3月末時点)
仙台市	なかしばし 仲芝橋	市道サイカ チ沼線	1988	2019	橋台のひびわれ、変 形・欠損、洗堀など	全面通行 止	未定

○市町村 (5橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2020.3月末時点)
気仙沼市 (宮城県)	まごめばし 馬籠橋	市道上野旧 県道線	1963	2014 2019	主桁、床版の剥離、鉄 筋露出、下部構造の剥 離	全面通行 止	架替中
名取市 (宮城県)	かわうちさわばし 川内沢橋	市道笠島中 道線	1983	2014	主桁のひびわれ、剥離、 鉄筋露出	通行規制 (片側)	修繕済
大崎市 (宮城県)	なのかまちごう 七日町1号 ばし 橋	市道第一小 前線	1919	2014	主桁のひびわれ	通行規制 (8t)	架替済
亶理町 (宮城県)	かみやちきたばし 上野地北橋	町道下新道 上野地線	1966	2014	橋台の傾斜	全面通行 止	撤去済
亶理町 (宮城県)	みなみなかばし 南中橋	町道吉田浜 南線	1990	2014	主桁の流失、ずれ	全面通行 止	撤去済

■トンネル (0箇所)

■道路附属物等 (0施設)

(5) 橋梁・トンネルの建設年度別施設数

■橋梁

建設年度	国土 交通省	高速 道路会社	県・ 政令市等	市町村
1920 以前	1	0	0	3
1921	0	0	2	0
1922	1	0	0	0
1923	0	0	0	0
1924	0	0	2	1
1925	0	0	3	0
1926	0	0	3	3
1927	0	0	11	2
1928	2	0	4	2
1929	2	0	6	5
1930	1	0	15	7
1931	1	0	21	5
1932	0	0	9	6
1933	1	0	17	9
1934	0	0	11	2
1935	2	0	34	15
1936	1	0	10	1
1937	3	0	20	1
1938	3	0	11	3
1939	0	0	17	1
1940	0	0	6	4
1941	0	0	4	3
1942	0	0	3	1
1943	0	0	5	2
1944	0	0	1	2
1945	0	0	3	2
1946	0	0	1	0
1947	1	0	1	1
1948	0	0	3	2
1949	1	0	3	9
1950	0	0	1	8
1951	2	0	5	9
1952	0	0	7	14
1953	6	0	7	11
1954	1	0	7	9
1955	2	0	20	32
1956	2	0	6	10
1957	10	0	22	38
1958	5	0	40	19
1959	6	0	31	29
1960	10	0	33	82
1961	26	0	47	31
1962	35	0	45	87
1963	53	0	59	65
1964	21	0	41	97
1965	20	0	52	66
1966	7	0	59	125
1967	10	0	74	103
1968	12	0	69	79
1969	23	0	65	66
1970	31	0	95	108

建設年度	国土 交通省	高速 道路会社	県・ 政令市等	市町村
1971	19	4	61	82
1972	11	6	56	115
1973	18	76	65	108
1974	23	20	60	184
1975	17	62	55	123
1976	13	82	43	112
1977	13	63	36	164
1978	7	44	57	148
1979	19	0	36	100
1980	17	4	51	140
1981	6	6	58	144
1982	8	0	36	62
1983	25	0	54	83
1984	12	0	40	85
1985	6	0	52	149
1986	27	4	73	75
1987	5	10	40	96
1988	12	18	76	120
1989	4	1	47	100
1990	2	17	36	222
1991	4	5	52	92
1992	0	23	55	85
1993	7	4	44	124
1994	6	34	28	72
1995	6	18	29	51
1996	35	10	25	49
1997	7	3	20	45
1998	5	0	22	63
1999	9	0	23	51
2000	2	17	30	40
2001	9	5	16	58
2002	6	4	15	36
2003	15	1	15	30
2004	21	0	13	27
2005	8	1	18	25
2006	15	2	25	25
2007	13	0	20	8
2008	12	2	15	18
2009	5	27	13	15
2010	9	0	8	26
2011	0	0	4	14
2012	9	5	8	16
2013	4	0	7	9
2014	0	19	4	8
2015	6	5	7	21
2016	9	0	7	13
2017	13	0	7	32
2018	12	0	6	18
2019	9	0	2	2
不明	2	0	126	3,912
総計	824	602	2,708	8,577

2020.3 末時点

■トンネル

建設年度	国土 交通省	高速 道路会社	県・ 政令市等	市町村
1920 以前	0	0	0	0
1921	0	0	0	0
1922	0	0	0	0
1923	0	0	0	0
1924	0	0	0	0
1925	0	0	0	0
1926	0	0	0	0
1927	0	0	0	0
1928	0	0	0	0
1929	0	0	0	0
1930	0	0	0	0
1931	0	0	0	0
1932	0	0	0	0
1933	0	0	0	0
1934	0	0	0	0
1935	0	0	0	0
1936	0	0	0	0
1937	0	0	0	0
1938	0	0	0	0
1939	0	0	0	0
1940	0	0	0	0
1941	0	0	0	0
1942	0	0	0	0
1943	0	0	0	0
1944	0	0	0	1
1945	0	0	0	0
1946	0	0	0	1
1947	0	0	0	0
1948	0	0	0	0
1949	0	0	0	0
1950	0	0	0	0
1951	0	0	0	0
1952	0	0	0	0
1953	0	0	0	0
1954	0	0	0	0
1955	0	0	0	0
1956	0	0	0	0
1957	0	0	0	0
1958	0	0	0	0
1959	0	0	0	0
1960	0	0	1	0
1961	0	0	0	0
1962	0	0	0	0
1963	0	0	0	0
1964	0	0	0	0
1965	0	0	1	0
1966	0	0	0	1
1967	0	0	0	0
1968	3	0	0	0
1969	1	0	0	1
1970	2	0	1	0

建設年度	国土 交通省	高速 道路会社	県・ 政令市等	市町村
1971	0	0	0	0
1972	0	0	2	2
1973	0	0	1	0
1974	0	0	0	0
1975	0	0	3	0
1976	0	0	0	0
1977	0	0	0	0
1978	0	0	1	0
1979	0	0	0	0
1980	0	0	0	0
1981	4	1	2	0
1982	0	0	0	0
1983	1	0	2	0
1984	3	0	1	0
1985	0	1	1	0
1986	0	0	1	0
1987	2	0	4	1
1988	1	1	6	0
1989	0	0	4	2
1990	0	0	2	3
1991	0	0	3	1
1992	0	0	1	0
1993	0	0	1	1
1994	2	0	1	0
1995	0	0	2	0
1996	0	0	0	2
1997	0	0	1	0
1998	1	0	4	0
1999	0	0	3	1
2000	0	0	1	0
2001	0	0	2	2
2002	0	1	1	0
2003	0	0	1	1
2004	0	0	0	0
2005	0	0	1	0
2006	0	0	1	0
2007	0	0	2	0
2008	1	0	0	0
2009	0	0	0	0
2010	1	0	1	0
2011	0	0	3	0
2012	0	0	1	0
2013	1	0	2	0
2014	1	0	5	0
2015	3	0	1	0
2016	0	0	1	0
2017	1	0	0	0
2018	0	0	4	0
2019	0	0	2	0
不明	0	0	0	9
総計	28	4	78	30

2020.3 末時点

宮城県道路メンテナンス会議（構成機関）

宮城県土木部道路課	亶理町都市建設課
仙台市建設局道路部道路保全課	山元町建設課
石巻市建設部道路第1課	松島町建設課
塩竈市建設部土木課	七ヶ浜町建設課
気仙沼市建設部土木課	利府町都市整備課
白石市建設部建設課	大和町都市建設課
名取市建設部土木課	大郷町地域整備課
角田市産業建設部都市整備課	富谷市建設部都市整備課
多賀城市建設部道路公園課	大衡村都市建設課
岩沼市建設部土木課	色麻町建設水道課
登米市建設部道路課	加美町建設課
栗原市建設部建設課	涌谷町建設課
東松島市建設部建設課	美里町建設課
大崎市建設部建設課	女川町建設課
蔵王町建設課	南三陸町建設課
七ヶ宿町農林建設課	東日本高速道路(株)東北支社
大河原町地域整備課	宮城県道路公社建設部道路管理課
村田町建設課	東北地方整備局道路部
柴田町都市建設課	東北地方整備局仙台河川国道事務所
川崎町建設水道課	東北地方整備局東北技術事務所
丸森町建設課	公益社団法人宮城県建設センター（オブザーバー）

会 長 東北地方整備局仙台河川国道事務所長
副会長 宮城県土木部道路課長
事務局 宮城県土木部道路課
東北地方整備局道路部
東北地方整備局仙台河川国道事務所
東北地方整備局東北技術事務所

問い合わせ窓口（事務局）

○宮城県土木部道路課 電話022-211-3155
○東北地方整備局仙台河川国道事務所道路管理第二課 電話022-304-1811